臺灣總督府

中央研究所農業部報告

第四十三號

臺灣産家禽ニ寄生スル羽虱類ニ關スル研究

臺灣總督府中央研究所

昭和四年十月

本報告ハ臺灣產家禽ニ寄生スル羽虱類ニ對シ主トシテ其分類學的研究ヲ行ヒタル結果ヲ記述セルモノニシテ當事者ノ參考ニ資センカ爲玆ニ印刷ニ附ス

昭和四年十月

臺灣總督府中央研究所農業部長

農學博士　大島金太郎

臺灣總督府
中央研究所 農業部報告　　第四十三號

臺灣產家禽ニ寄生スル羽虱類ニ關スル研究　目次

第一章　緒　言……1
第一節　分　類……1
第二節　宿主別……2
第二章　アンブリセラ首科……4
第一節　メノポニデー科……4
第一項　羽虱屬……5
(一)　はとはじらみ……5
(二)　あひるはじらみ……7
第二項　エオメナカンツス屬……9
(一)　おほにはとりはじらみ……10
第三項　ノイマンニア屬……12
(一)　にはとりはじらみ……12
第四項　フエリシア屬……15
(一)　はとながしりはじらみ……15
第三章　イスクノセラ首科……18
第一節　長羽虱科……18
第一項　ドコフオルス屬……20
(一)　くちびろはじらみ……20
第二項　ゴニオコーテス屬……22
(一)　たいわんはとまるはじらみ……22
(二)　ひめにはとりはじらみ……27
第三項　ゴニオデス屬……29

(一) かくあごはじらみ……30
(二) つのはじらみ……32
第四項　長羽虱屬……35
(一) はとながはじらみ……36
(二) がてうながはじらみ……39
(三) だてうながはじらみ……42
(四) あひるながはじらみ……44
(五) にはとりながはじらみ……48
(六) たかさごながはじらみ……51
參考書
圖版及圖版說明　第一圖版——第一九圖版

臺灣產家禽ニ寄生スル羽虱類ニ關スル研究

技師　杉本正篤

第一章　緒　言

世界ニ於テ今日マテニ發表サレタル獸禽ニ寄生スル mallophaga ハ其數1,700種以上ヲ算セラル　而シテ我邦ニ於ケル鳥類ニ寄生スル羽虱類ノ研究ハ内田清之助氏以外ニハ余寡聞ニシテ之アルヲ知ラス

余ハ明治四十三年(1912年)渡臺以來機アル毎ニ家禽寄生蟲ノ標本採集ニ力メタルカ其中羽虱類ニ關スルモノハ大約次ノ14種2變種ニ出テサル模樣ナルヲ知リタルヲ以テ是等ニ對シ分類學的研究ヲナシ其結果ヲ次ニ記述セントス　尙本報告中ニ收錄セル羽虱類ハ一般ニ家禽トセラレ居ル鷄,七面鳥,珠鷄,家鴨,鵞,家鳩及特殊ノ熱帶家禽タル駝鳥ニ寄生スルモノヲ揭ケタリ

第一節　分　類

今臺灣產家禽ノ羽虱類ヲ分類スレハ次ノ如シ

CLASSIFICATION OF THE MALLOPHAGA FROM THE FORMOSAN DOMESTIC BIRDS.

Suborder *Mallophaga* Nitzsch, 1818.　食毛亞目

Superfamily *Amblycera* Kellogg, 1896.　アンブリセラ首科

Family *Menoponidae* Mjöberg, 1910.　羽虱科

Subfamily *Menoponinae* Harrison, 1916.　羽虱亞科

Genus *Menopon* Nitzsch, 1818.　羽虱屬

M. *latum* Piaget, 1880.　はとはじらみ

M. *obscurum* PIAGET, 1880.	あひるはじらみ
Genus *Eomenacanthus* UCHIDA, 1926.	エオメナカンツス屬
E. *biseriatum* (PIAGET, 1880).	おほにはとりはじらみ
Genus *Neumannia* UCHIDA, 1926.	ノイマンニア屬
N. *pallidum* (NITZSCH, 1874).	にはとりはじらみ
Genus *Ferrisia* UCHIDA, 1926.	フエリイシア屬
F. *turbinata* (DENNY, 1842).	はとながしりはじらみ
Superfamily *Ischnocera* KELLOGG, 1896.	イスクノセラ首科
Family *Philopteridae* BURMEISTER, 1836.	長羽虱科
Genus *Docophorus* NITZSCH, 1818.	ドコフオルス屬
D. *icterodes* NITZSCH, 1874.	くちびろはじらみ
Subfamily *Goniodinae* MJÖBERG, 1910.	ゴニオヂネー亜科
Genus *Goniocotes* BURMEISTER, 1835.	ゴニオコーテス屬
G. *compar* var. *formosanus* n. var.	たいわんはとまるはじらみ
G. *hologaster* NITZSCH, 1874.	ひめにはとりはじらみ
Genus *Goniodes* NITZSCH, 1818.	ゴニオデス屬
G. *dissimilis* NITZSCH, 1874.	かくあごはじらみ
G. *stylifer* NITZSCH, 1874.	つのはじらみ
Genus *Lipeurus* NITZSCH, 1818.	長羽虱屬
L. *baculus* NITZSCH, 1874.	はとながはじらみ
L. *jejunus* NITZSCH, 1874.	がてうながはじらみ
L. *quadrimaculatus* PIAGET, 1880.	だてうながはじらみ
L. *squalidus* NITZSCH, 1874.	あひるながはじらみ
L. *variabilis* NITZSCH, 1874.	にはとりながはじらみ
L. *variabilis* var. *formosanus* n. var.	たかさごながはじらみ

第二節　宿　主　別

次ニ宿主別ニ之ヲ列記スレハ次ノ如シ

鷄ニ寄生スルモノ

かくあごはじらみ	*Goniodes dissimilis* NITZSCH;
ひめにはとりはじらみ	*Goniocotes hologaster* NITZSCH;
にはとりながはじらみ	*Lipeurus variabilis* NITZSCH;
たかさごながはじらみ	*Lipeurus variabilis* var. *formosanus* n. var.;
にはとりはじらみ	*Neumannia pallidum* (NITZSCH);
おほにはとりはじらみ	*Eomenacanthus biseriatum* (PITZSCH).

七面鳥ニ寄生スルモノ

つのはじらみ	*Goniodes stylifer* NITZSCH;
にはとりはじらみ	*Neumannia pallidum* (NITZSCH);
おほにはとりはじらみ	*Eomenacanthus biseriatum* (PIAGET).

珠鷄ニ寄生スルモノ

にはとりながはじらみ	*Lipeurus variabilis* NITZSCH;
にはとりはじらみ	*Neumannia pallidum* (NITZSCH).

家鴨ニ寄生スルモノ

くちびろはじらみ	*Docophorus icterodes* NITZSCH;
あひるながはじらみ	*Lipeurus squalidus* NITZSCH;
あひるはじらみ	*Menopon obscurum* PIAGET;
にはとりはじらみ	*Neumannia pallidum* (NITZSCH).

鵞ニ寄生スルモノ

がてうながはじらみ	*Lipeurus jejunus* NITZSCH.

家鴿ニ寄生スルモノ

たいわんはとまるはじらみ	*Goniocotes compar* var. *formosanus* n. var.;
はとながはじらみ	*Lipeurus baculus* NITZSCH;
はとはじらみ	*Menopon latum* PIAGET;
にはとりはじらみ	*Neumannia pallidum* (NITZSCH).
はとながしりはじらみ	*Ferrisia turbinata* (DENNY).

駝鳥ニ寄生スルモノ

だてうながはじらみ *Lipeurus quadrimaculatus* PIAGET.

第二章 アンブリセラ首科

Amblycera KELLOGG, (1896).

標徴 觸角ハ頭狀ヲ呈シ4節ヨリナリ雌雄其形ヲ同シフス 下唇鬚ハ絲狀ニシテ4節ヨリナル 大腮ハ水平ナリ 食道節片 Oesophageal sclerite 及夫ニ附隨スル腺 lingual glands ヲ缺如スルカ又ハ變形ス 中後胸ハ縫線ヲ以テ顯著ニ認メラル 嗉囊ハ簡單ナリ 嗉囊腺ヲ缺如ス 卵巢小管 eggtube ハ3—5箇存ス

第一節 メノポニデー科

Menoponidae MJÖBERG, (1910).

標徴 體ハ大小一ナラス 頭部ハ特徴アル三角形ニシテ顳顬部ハ左右ニ擴カリ稀ニ前頭部ハ多少丈夫ナル眼蔽痕ニ依テ後頭部ト隔離サル 口部ハ廣クシテ前方ニ横ハル 額板ハ左程前方圓カラス上唇ハ頭ノ下面ニ横ハリ下方ヘ横圓形隆起トナツテ現ハル 觸角ハ4節ヨリナリ多少棍棒狀ヲ呈シ深ク窩中ニ潜ミ第三節ハ三角形第四節ハ頗ル肥大シ例外トシテ感覺窩ヲ有スルモノアリ 舌ハ常ニ存シ殆ト2分セル横圓形體ノ中ニアリ 眼ハ大抵2分サル 後頭ニハ遊離シタル隆起無ク之ニ反シ頭ノ後端ニハ屢々所々ニ甚タ丈夫ナル「キチン」質ヨリナレル暗色ノ著色部アリ 顳顬ノ後隅及ソレヨリ前方ニモ甚タ長キ硬毛生ス 胸部ハ多クノ場合主要ナル3節現ハレ 前胸ハ特徴アル形ニシテ中央ヨリ前方ハ常ニ擴カリテ其側縁多少凸出ス 多クノ場合ハ「キチン」質ヨリナレル丈夫ナル横線ヲ有ス 肢ハ相當ニ長ク常ニ良ク發達セル爪床ヲ有ス此爪床ハ屢々2箇アリテ其大ナルモノハ第一節ニテ圓盤狀ヲ呈シ僅カニ小ナル他ノモノハ其尖頂略圓形ヲナシテ時ニ爪間ノ小葉ト連續ス 爪床ハ稀ニ柔軟ナル皮質ヨリナラス或ハ種々ノ工合ニ變形セリ 腹

部ハ9節ヨリナリ通常僅カノ「キチン」質ヨリナリテ無色或ハ暗色ノ横帶ヲ有ス　毛多數ニ生ス　雄蟲ノ交接器Genitaliaハ甚タ簡單ニシテ幅廣キ基礎板無クテ簡單ナル「キチン」質ノ桿ヲ有シ側葉parameresハ僅カニ發達ス

第一項　羽　虱　屬

Menopon NITZSCH, (1818).

標徵　體ハ大小一ナラス1—5mm長ナリ　一般ノ形態及特徵ハ*Colpocephalum*屬ト同樣ニシテ折々其鑑別ニ苦シム事アリ　然レトモ眼窩ノ缺ケ居ルカ又淺キモノアリ　眼窩ノ存スルモノハ平坦ニ下方ニ見エテ其上方ニテ横ニ擴カレル膜アリ　頭ハ常ニ長サ其幅ニ及ハス　顳顬部ハ左右ニ突出シテ圓味アリ　下脣鬚ハ4節ヨリナリ　觸角ハ短ク4節ヨリナリ最初ノ2節ハ截形ヲ呈シテ圓筒形ナリ　第二節ニハ稀ニ附屬物ヲ有シ第三節ハ通常小花梗狀或ハ葉狀ヲナシ又ハ臺付杯形ヲ呈シ此開口ノ內ニ球形,卵圓形又ハ圓筒形ノ第四節ヲ受ク　第四節ハ常ニ全4節中ニテ最大ナリ　然レトモ觸角ノ大部分ハ頭ノ下面ニ藏セラレテ表面ヨリ窺フ能ハス　前胸ハ通常後胸ヨリ長ク兩側ニ突出ス　中胸ハ後胸ト合一ス　肢長ク蹠節ノ第一節ハ極短ク種々ノ形ノ葉ヲ具フ　第二節ハ長ク小ナル「キチン」質板ヲ有シ屢々其末端ニ於テ膨ル　腹部ハ長橢圓形ニシテ雌雄其形狀ヲ異ニス而シテ最後ノ節ニ於テ特ニ然リトス　雌ノ第九節後緣ニハ雄ニ有セサル處ノ美シキ毛列ヲ有ス　體ハ白色或ハ黃色ニテソレニ暗色ノ斑紋ヲ有ス

(一)　はとはじらみ　(第一圖版第一,二圖)

Menopon latum PIAGET, 1880.

(Les Pediculines, p. 457, pl. XXXVII, f. 1.)

Menopon giganteum DENNY, 1842.

(Monograph. Anoplur. Brit., p. 225, pl. XXI, f. 2.)

形　　態

頭部　長サ幅ニ及ハス　其形三角形ヲ呈シ半透明ナリ　前頭部ハ稍稍拋物線狀ヲ呈シ前方若干角張リ各側ニハ1　2箇ノ細毛ト2箇ノ短毛ヲ有ス　眼窩ナク眼ハ小ニシテ黑色ナリ　顳顬ハ圓ク左右ニ凸出シ5箇ノ短毛ト若干ノ長毛生ス　後頭ハ凹入シ居ルモ直線ヲナシ6箇ノ短毛ト1邊緣帶ヲ有ス　觸角帶ハ明瞭ナル斑ヲ有ス

下腮鬚ハ長ク4節ヨリナリ第四節ハ稍々華奢ニシテ第三節ヨリ稍長シ　觸角ハ短ク4節ヨリナリ第二節ハ雌雄共附屬突起ヲ具ヘ第四節ハ若干球狀ヲ呈ス　而シテ觸角ノ大部分ハ頭ノ下面ニ藏セラレテ表面ニ顯ハレス　(第九圖版第一圖、第一〇圖版第一圖參照)

胸部　雌蟲ニ於テハ頭ヨリ稍長ク雄蟲ニ於テハ頭ヨリ稍短シ　前胸ハ後方ニテ狹クナリ角ニハ1毛1棘アリテ其邊緣ニハ各側ニ3箇ノ短毛生ス　中胸ハ帶ノ爲ニ明瞭ナラス　後胸ハ頭ヨリハ幅狹ク其後緣ハ腹節ヘ稍々圓ク被覆ス　角ニハ1長毛2小棘生シ後緣ニハ一、二本ノ短毛生ス　胸面ニ於テハ正中斑ヲ缺キ中後肢基節間ニアル2箇ノ横帶ハ結合シ正中線ニテ彎曲ス　肢ハ長ク且丈夫ナリ

腿節ハ細毛ニ緣取ラレ後腿節腹面ニハ約20箇ノ棘ノ斑アリ　脛節ハ長ク又細毛ニテ緣ラル　蹠節ノ第一節ハ極メテ短ク小葉附著ス　第二節ハ膨レテ稍々發達シ帶黑色ノ小ナル「キチン」質板ヲ有ス(第一二圖版第七圖參照)嗉嚢中ニ存スル歯 gastric teeth ハ極メテ小ナリ

腹部　雌蟲ニテハ橢圓形ニテ第一節ノ角ハ甚シク突出シ2—4箇ノ棘ヲ有ス　第九節ハ末端圓ク2—3箇ノ長毛ヲ有ス　第一節ハ他節ヨリ短ク最初ノ八節ハ側斑ヲ有シ横斑ト分離シ而シテ兩側ニ甚タ緻密ナル長毛ノ一列アリ　第九節ハ延長シテ圓ク各側ニハ雄蟲ニ有セサル處ノ美シキ毛列ヲ有ス(第一一圖版第一圖)　腹面ニテハ valvulae (產卵管ヲ形成スル附屬葉) ハ眞直ナリ　横斑ハ稍明瞭ナリ　雄蟲ニ於テハ狹長ニシテ長橢圓形ヲ呈シ第九節ハ短クシテ窪メルカ如シ Genitalia ハ暗色ナリ　parameres ハ前方ニテ膨レテ二重ニ彎曲ス

體ハ帯白色乃至帯黄色ニテ斑ハ鮮明ナル黄褐色ナリ

計　測 (mm)

	雄蟲	雌蟲
體長	1.8 —2.2	1.5 —1.6
頭部長	0.31—0.37	0.28—0.29
同幅	0.69—0.7	0.58—0.6
前胸長	0.19	0.15
同幅	0.46	0.37
後胸長	0.19	0.22
同幅	0.48	0.36
腹部長	1.02	0.85
腹幅	1.24	0.78
觸角	0.11	0.11
後肢腿節	0.32	0.24
後肢脛節	0.32	0.24

宿　主

はと　*Columba domestica;*

野生鳩ノ一種　*Columba oenas.*

採　集　地

臺北新竹兩州ノ各地 (但他州ニモ普通ノモノト認ムレトモ4種類ノ鳩羽虱中寄生率最モ少キモノナリ)

地理的分布

佛蘭西　獨逸　英吉利　北米合衆國等

(二) あひるはじらみ(新稱) (第一圖版第三圖)

Menopon obscurum PIAGET, 1880.

(Les Pédiculines pp. 497-498, pl. XL, fig. 8)

形　態

頭部　弦月狀ニシテ雄蟲ニテハ稍長ク前緣ニハ2箇ノ中等長毛及16箇ノ短毛ヲ生ス　顳顬部ハ幅廣ク左右ニ凸出シ其緣ニハ3—4箇ノ短毛列生シ顳顬角ニハ5長毛及2中等長毛生ス　眼窩無ク眼ノ部

分ニ四角形ノ黑色素斑アリ　後頭ハ陷凹シテ4箇ノ短毛列生シ(PIAGET氏ハ裸ナリト記載ス)一邊緣帶ヲ有ス　眼窩帶ハ缺如ス　後頭帶ハ無色ニシテ2後頭帶間ハ離隔シテ外孤線ヲ呈ス　(第九圖版第二圖、第一〇圖版第二圖參照)

胸部　長サ頭部ヨリハ雌蟲ニ於テ稍長ク雄蟲ニ於テハ雌蟲ヨリ長シ

前胸ハ菱形ヲ呈シ各側ニ1長毛及1短毛ヲ有シ(PIAGET氏ハ2短毛生スト記載ス)角ニハ1棘ヲ有シ後緣ニハ8箇ノ短毛ト7箇ノ甚タ短キ寧ロ棘トモ呼フヘキ毛アリ　背面ニハ「キチン」質ノH狀ノ隆起線アリ　後胸ハ三角形ニシテ頭ヨリ幅狹ク短毛ヲ以テ緣ラル　其後緣ハ腹節ト眞直ニ接合ス　胸面ニ於テハ第一正中斑僅カニ現ハル

肢ハ毛僅カニ生シ淡ク著色セリ　後腿節ノ腹面ニハ約18箇ノ棘ヨリ成立スル粗ナル斑アリ　脛節ハ腿節ヨリ稍々短ク外側ニハ4毛(PIAGET氏ハ2毛)内側ニハ3棘ヲ有ス　gastric teeth ヲ缺如ス

腹部　雄蟲ハ楕圓形ニシテ側緣ノ角非常ニ凸出シ其處ニ3箇ノ長毛アリ　各腹節ノ長サハ殆ト等シク横斑ハ腹節間ノ溝ヲ除キテハ腹節ノ全體ヲ被覆ス　各節ニハ後緣ニ近ク一列ノ短毛緻密ニ生ス　第九節ハ半圓形ニ終リ若干ノ短毛生シ側方ノ附屬突起ハ細ク其外側ハ彎曲シ帶黑色ナリ(第一三圖版第三圖參照)　雌蟲ニ於テハ腹節ハ長楕圓形ニシテ雄蟲ヨリハ幅稍々廣シ色彩ハ雄蟲ヨリ齊一ナリ　第九節ハ稍々延長ス　終末ノ總節ハ髯形ヲナシ短毛ハ疎ナレトモ稍稍長シ(就中腹面ニ於テ)(第一一圖版第四圖參照) valvulae ハ凸出ス　腹板ハ凸隆シテ中央部ハ3列ノ短毛生シ兩側部ニハ約4列ノ棘(總數約30箇)各腹節毎ニ密生シテ斑ヲ形成ス

體ハ腹部暗灰褐色ニテ中央部稍鮮明ナリ　側帶ハ狹クシテ帶黑色ナリ　頭及胸部ハ灰褐色ナリ

計　　測 (mm)

	雌　　蟲	雄　　蟲
體　　長	1.55	1.4

	雄蟲	雌蟲
體長	1.55	1.4
頭部長	0.3	0.32
同幅	0.55	0.52
胸部長	0.3	0.32
同幅	0.49	0.46
腹部長	0.9	0.74
同幅	0.64	0.62
觸角	0.09	0.1
後肢腿節	0.25	0.24
後肢脛節	0.24	0.23

宿主

あひる　*Anas domestica;*

Anas radjah.

採集地

臺北州文山郡景尾(1925年九月 家鴨 杉本採集)

同 臺北市大稻埕(1928年十一月 同)

地理的分布

佛蘭西 本邦

第二項 エオメナカンツス屬

Eomenacanthus UCHIDA (1926).

標徵 體大,多毛,頭ノ下面ニハ小ナル棘狀突起アリ 頭ノ側緣ニハ眼ノ丁度前方ニ淺キ截痕ヲ有ス 前頭ハ拋物線狀ヲ呈シ顳顬ハ狹クシテ擴延ス 觸角ノ最後ノ片節ハ圓筒形ヲ呈ス 食道節片 oesophageal sclerite ハ缺如ス 中胸ハ後胸ト混合ス 後腿節ノ腹面及腹板ニハ無數ノ短毛ヲ生セル鮮明ナル斑アリ gastric teeth ハ存在ス 雄蟲ノ genitalia (生殖器ノ「キチン」質ヨリナレル斑) ハ大ニシテ幅廣ク特ニ基礎板ハ遠心端ニ於テノミ「キチン」質ヨリ成レル叉狀ヲナセル1對ノ桿ヨリ成立ス 側葉 parameres ハ其起始部附近ニテ彎曲シ頂上ニ於テ僅カニ彎曲ス 故ニ側葉ハ七絃琴形ノ裝置ヲナス 內葉 endomeres ハ葉狀ヲナシ各々ハ尖レル尖頂ヲ有ス 陰莖ハ明瞭ニシテ「キチン」質ヨ

リナリ parameres ノ 2 裂端間ニ横ハル　附属器ハ大ニシテ長楕圓形ヲ呈シ「キチン」質ヨリナル　第五節ノ腹板ノ前縁ヨリ第六節ノ後縁ニ達ス

本属ノ臺灣種ハ鷄ニ寄生スル *Eomenacanthus biseriatum*(PIAGET) ノ一種ノミ

(一) おほにはとりはじらみ(第二圖版第一、二圖)

Eomenacanthus biseriatum (PIAGET 1880).

(UCHIDA, 1926. Studies on Amblycerous Mallophaga of Japan. Journal of the College of Agriculture, Imperial University of Tokyo, vol. IX, No. 1, p. 32.);

Menopon biseriatum PIAGET, 1880.

(Les Pédiculines, Essai monographique. p. 469, pl. 47, fig. 2)

形　態

頭部　比較的小サク三角形ニシテ前頭部ノ前縁ハ抛物線狀ヲ呈ス　眼窩ハ眼球ニテ占メラル　眼ノ部分ノ縁ハ僅カニ陷凹シ　四角形ノ黒色素斑アリ　顳顬ハ狹ク擴延凸隆シテ約 8 箇ノ長短不同ノ毛アリ　後頭ハ少シク陷凹シ 8 箇ノ短毛列生シ狹小ナル 1 邊縁帶ヲ有ス　後頭帶ハ下方明瞭ナラス　下腮鬚ハ細長ニテ末端頭縁外ニ顯ハル　觸角ハ特ニ雄蟲ニ於テ長ク末節ハ卵形ニテ末節ノミ頭縁外ニ顯ハル　頭ノ下面ニハ小ナル棘狀突起ノ 1 對アリ　又大腮ノ根ニ至ル迄 6 對ノ短毛生ス(第九圖版第三圖、第一〇圖版第四、五圖參照)

胸部　雌雄共頭部ヨリ長ク前胸非常ニ幅廣ク菱形ヲ呈シ其後方ハ狹ク約 15 箇ノ稍々長キ短毛ヲ以テ縁取ラル　前胸角ニハ 1 棘アリテ顯著ニ突出ス　背面ニハ H 狀ノ「キチン」質ノ突起アリ　中胸ハ後胸ト合同スルモ其兩側ニ於テ僅カニ窺フコトヲ得　後胸ハ三角形ニシテ其後縁腹部ト眞直ニ接シ該縁ニハ 22 箇ノ短毛ヲ以テ縁取ラレ中部ニハ横ニ 1 列ノ小短毛生ス　胸骨面ニテハ中肢基節間ニテ稍稍長キ短毛ノ 1 束アリ　肢ハ丈夫ニシテ毛深シ　基節ニハ 2 短毛アリ中肢基節ハ亞三稜形ヲ呈ス　前腿節ハ僅カニ發育シ後 2 對ノ

ハ長ク且肥厚シ外側ハ長毛内側ハ若干ノ細毛ニテ緣ラル脛節ハ腿節ヨリ短ク其外側ハ非常ニ毛深ク邊緣ニ1帶ヲ有ス　第二跗節ハ長シ

腹部　雄蟲ニテハ長ク紡錘形ヲ呈ス　第一節ハ他ノ節ヨリ短ク第四節最モ幅廣シ　各腹節ニハ幅廣キ横斑ト2列ノ短毛ヲ生ス　後列ノ短毛ハ前列ノモノヨリモ長ク後角ニ生スルモノハ他ノモノニ比シテ著シク長シ　第九節ハ圓ク畫筆形ノ細キ短毛ヲ以テ總飾ヲナス(第一一圖版第三圖參照)腹面ニ於テハ短毛ハ緻密ニシテ不規則ニ兩側ニ向ツテ樹立セリ　第三—五節ノ腹板ノ兩側ニハ約18箇ノ短毛(寧ロ棘ニ近キ)密集樹立ス　氣門ノ間ハ若干個體ニ於テハ明瞭ナリ

雌蟲ニテハ雄蟲ヨリ長ク幅狹ク第八節ハ他ノ節ヨリ長ク兩側ハ殆ト平行ニ近キモノアリ　第九節ハ第八節ト接續シテ抛物線狀ヲ呈シ細キ短毛ヲ以テ緣リ第八節以下全部著色セリ　其他ハ總テ雄蟲ト同樣ナリ　genitalia ハ他ノ種ヨリ複雜ニシテ(第一三圖版第二圖參照)七絃琴ノ形ヲナス　體ハ黄色ニテ腹部ノ斑ハ底部帶白ノ鮮明ナル灰褐色ニテ頭部胸部ノ斑ハ他ノモノヨリ稍々暗色ナリ

計　　測 (mm)

	雄蟲	雌蟲
體長	2.7	2.9–2.95
頭部長	0.4	0.4
同幅	0.62	0.63
胸部長	0.52	0.52
同幅	0.6	0.63
腹部長	1.85	2.05
同幅	1.0	0.9
觸角	0.13	0.14
後肢腿節	0.41	0.4
同脛節	0.38	0.35

宿　　主

にはとり　*Gallus domesticus ;*

しちめんてう　*Meleagris gallopavo ;*

きじノ一種(歐洲)　*Phasianus cochicus*

採　集　地

臺北市富田町　(1928年十二月　鷄　杉本採集)

臺北市大龍洞町　(1929年一月　七面鳥　同　)

地理的分布

世界各地

第三項　ノイマンニア屬

Neumannia UCHIDA (1926).

標徴　小形ニシテ頭部ノ腹面ニハ2對ノ棘狀突起ヲ有シ頭ハ *Colpocephalidae* 型ニシテ頭ノ側緣ニハ丁度眼ノ前方ニ明瞭ナル截痕アリ前頭ハ大ニシテ圓ク顳顬ハ突出ス　中胸ハ完全ニ後胸ト混合ス　後腿節ノ腹面及或腹板ニハ棘ノ不鮮明ナル斑アリ　此腹板上ノ棘ハ短ク多少一般ノ短毛ト混合ス　gastric teeth ハ存ス　雄蟲ノ genitalia ハ *Colpocephalum* ノ genitalia ニ似タリ　基礎板ハ纖細ニシテ僅カニ彎曲セル桿ヨリ成立ス　此彎曲セル桿ハ其中部附近ニテ倒Y字狀ニ結合シ基礎板ノ各桿ハ甚タ長キ纖細ナル側葉 parameres ト短クシテ尖レル内葉 endomeres ヲ具フ　遠心端ヲ有スル parameres ハ僅カニ外方ニ彎曲ス　薄板 lamina ハ扁平ナル圓形ノ後緣ヲ有シテ長楕圓形ヲ呈ス　基礎板ノ中央部ニ於テハ2箇ノ「キチン」質ヨリナレル短桿ヨリ成立スル處ノ1箇ノ附屬裝置アリ

本屬ハ鶉鷄目ニ於テノミ發見サレ臺灣ニ於テハ次ノ1種ノミヲ見ル

(一)　にはとりはじらみ　(第二圖版第三,四圖)

Neumannia pallidum (NEUMANN 1912)

UCHIDA (1926). Studies on Amblycerous Mallophaga of Japan. (Journal of the College of Agriculture, Imperial University of Tokyo, vol. IX, No. I, p. 30);

Menopon pallidum NITZSCH 1818.

GIEBEL (1874). Ins. Epiz. p. 291, pl. 17, f. II, Pl. 19, f. 2-5;

Menacanthus pallidulum NEUMANN 1912.

Notes sur les Mallophages II, (Archives de Para-sitologie, tom. XV, p. 361, figs 7, 9;

Nirmus trigonocephalus OLFERS 1816.

De vegetativis et animatis corporibus in corporibus animatis referiundus commentarius.

形　　態

頭部　前頭部ハ略半圓形ヲ呈シ其側縁ニハ10箇ノ短毛ト2箇ノ長毛ヲ有ス　顳顬部ハ圓ク稍側方ニ突出シ其縁ニ短毛列生ス　顳顬角ニハ數箇ノ短毛及3箇ノ長毛生ス　眼ノ部分ハ少シク陷凹シ黑色素アリ　頭ノ後縁ハ稍々陷凹シ細キ邊縁帶ヲ有シ4箇ノ短毛及2箇ノ極短毛列生ス　後頭帶ハ殆ト平行シテ其基部ニ小斑アリ　觸角斑點ナク第四節長シ　下腮鬚ハ長ク第四節ハ第三節ノ殆ト倍長ナリ(第一〇圖版第六、七圖參照)

胸部　全長ハ雌蟲ニ於テハ頭部ヨリ長ク雄蟲ニ於テハ頭部ト殆ト等シ　前胸ハ短クシテ兩側突出シ其角ニ1棘ヲ具フ　後縁圓ク盃狀ヲ呈シ14箇ノ長毛生ス　背面ニハ短キH狀ノ「キチン」質ノ隆起アリ　中胸ハ明瞭ナラス　後胸ハ腹部ト合シテ長卵圓形ヲ呈ス　後胸ハ頭部ヨリハ稍々幅廣ク側縁ニハ2箇ノ短大ノ棘生ス　後角及後縁ニハ數箇ノ長毛間隔ヲ置キテ1列ニ生ス　胸板面ニ於テ中央斑ヲ缺如シ中肢基節間ノ前方ニテ稍々長キ短毛9箇生ス　肢ハ強長ニシテ細毛ヲ具フ　脛節ハ腿節ヨリ稍々長ク其端膨脹シ毛ヲ以テ緣ラル後腿節ノ腹面ニハ約30箇ノ棘ヨリナレル斑アリ　跗盤ハ幅廣ク第二蹠節ハ細長ナリ　gastric teeth ハ嗉嚢ノ後端ニ存ス

腹部　雌蟲ニ於テハ長卵圓形ニシテ各腹節ノ後縁ニハ間隔アル1列ノ多數ノ毛生ス　第四節ノ腹板ニテハ正中線ト邊縁トノ中央部ニ27箇ノ棘密集樹立シ斑ヲ形成ス(第一二圖版第一圖參照)(雄蟲ニ於テモ此短毛同樣ニアリ)　側斑紋ハ鮮明ニシテ二重ニナリ　後角ハ突出シ茲ニ1—3長毛ト若干ノ棘ヲ具フ　第一—八節ハ等長ニシテ僅カニ見ユル處ノ横斑ヲ具フ　第九節ハ圓ク其總飾ハ非常ニ短キ毛ヨリ成

立ス valvulae ハ非常ニ凸出ス 雄蟲ニ於テハ腹節雌蟲ヨリ稍々狹長ニシテ第九節ハ延長シ末端拋物線狀或ハ「アーチ」形ナリ 玆ニ小ナル孔存シ緻密ニ毛生ス genitalia ハ僅ニ染色セラレテ狹長ナリ 外面ノ突起ハ殆ト平行ニ近ク其中間ノ弓形ノ裂孔ヨリ陰莖挺出シ短毛ヲ以テ緣ラル(第一三圖版第一圖參照) 體ハ汚黃色ニシテ腹部ノ斑紋ハ鮮明ナル黃褐色ニテ各側緣ニ於テハ稍々色暗ヲ帶フ

計　　測 (mm)

	雌　蟲	雄　蟲
體　長	1.75	1.8—1.9
頭部長	0.31	0.32
同　幅	0.47	0.46
胸部長	0.35	0.32
同　幅	0.49	0.49
腹部長	1.10	1.26
同　幅	0.72	0.68
觸　角	0.11	0.11
後肢腿節	0.23	0.22
同　脛節	0.24	0.22

宿　　主

にはとり　*Gallus domestica*;

しちめんてう　*Meleagris gallopavo*;

ほろほろてう　*Numida meleagris*;

あひる　*Anas domestica*;

はと　*Columba domestica.*

其他農場ノ各種ノ禽類ニ屢々發見サル 臺灣產鷄ニハ極メテ普通ナリ

採　集　地

廣汎ナレハ省略ス

地理的分布

世界各地

第四項　フエリシア属

Ferrisia UCHIDA (1926).

標徴　此属ハ一見*Colpocephalum*属ニ類似スレトモ雌雄共形ヲ異ニス　後腿節ノ腹面ニ棘ノ3櫛ヲ及第三腹節ノ胸板ノ兩側ニ2節ヲ具フ　中胸ハ小ニシテ不明ナル縫線ニ依テ後胸ト分離ス　頭部ハ*Colpocephalum*ニ於ケルト同型ナリ　gastric teeth ハ存ス　雌蟲ハ腹部ノ後方ハ延長シテ後方ノ尖レル部分ニアル節ハ腹ノ中央部ニ沿ウテ溝ヲ作ルカ如ク下方ニ彎曲ス　第八節ノ腹部胸板ニハ丈夫ナル2列或ハ3列ノ邊縁毛ヨリナレル總飾ヲ具フ　此總飾ハ各後部ニ沿ウテ其節ノ側ヲ廻ツテ上方ニ彎曲ス　雄蟲ノ genitalia ハ *Colpocephalum* ト同型ナリ

此属ノモノハ鷲鷹目ニ最モ多ク發見サル　然レトモ又鵜型目ノ鳩鴿科及海燕目ノ信天翁亜科ニモ發見サル　臺灣産家禽ニテハ此属ニ *Ferrisia turbinata*(DENNY 1842)ノ唯1種アルノミ

(一)　はとながしりはじらみ　(第一圖版第四、五圖)

Ferrisia turbinata (DENNY 1842)

UCHIDA 1926. Studies on Amblycerous Mallophaga of Japan.

(Journal of the College of Agriculture, Imperial University of Tokyo, vol. IX, No. 1, p. 44);

Colpocephalum turbinatum DENNY, 1842.

p. 200, pl. XXI, fig. 1.;

Colpocephalum longicaudum NITZSCH, 1874.

GIEBEL p. 394; PIAGET, 1880. p. 5534, pl. XLIV, fig. 6; 杉本正篤 1927. 臺灣總督府中央研究所農業部彙報 No. 54, p. 16, pl. V, figs 1-3.

形　　態

頭部　長サヨリ幅大ニシテ前頭部ハ拋物線狀ヲ呈シ稍々扁平ナリ　前縁ニハ各側ニ2箇ノ短毛及極細キ短毛8—10箇ヲ見ル　下腮鬚ハ4節ヨリナリテ長ク挺出シ末節ハ圓筒形ヲ呈ス　觸角ハ長ク頭端ヨリ出テ雌雄共殆ト同長ニシテ4節ヨリナリ　第一節短ク圓筒

形第二節ハ圓錐形第三節ハ臺付盃形第四節ハ卵圓形ニテ末端斜ニ截形ヲ呈シ之ニ細毛生ス　眼窩ハ深ク該窩前角ニハ中等長毛生ス　眼ハ眼窩ノ後方ニアリテ眼斑ハ黑色ニシテ烏帽子形ナリ　觸角帶ハ顯著ナラサルモ各1個ノ黑褐色ノ小斑アリ　顳顬部ハ左右ニ突出膨隆シ2長毛ト2中等長毛及多數ノ短毛生ス　眼ノ後方顳顬ノ前緣ニ沿ウテ美麗ナル1列ノ短毛(眼緣)ヲ有ス　口窩ハ小ナリ　後頭ハ凹入シ幅廣キ暗褐色ノ邊緣帶ヲ有シ後頭帶ハ太ク黑色ノ後半ト暗褐色ノ前半ニ分レ前方ハ眼帶ニ混ス而シテ此黑色部雄蟲ハ雌蟲ヨリ長シ(第九圖版第四圖參照)

胸部　前胸ハ菱形ニシテ角ハ銳ク突出シ背面ニハ廣キキチン質ノH狀ノ隆起アリ　角ニハ1硬毛及1棘アリ　各側ニハ4箇ノ硬毛列生ス　全體褐色ナリ　中胸ハ小ニシテ不明ナル縫線ニ依テ後胸ト分離ス　後胸ハ三角形ニシテ後緣ヲ除ク外全體著色シ兩側ヨリニ角カケ多數ノ短毛生シ著色部ニハ橫ニ3列ノ短毛生ス　胸背面ニ於テハ正中斑不明ニシテ前肢基節ノ內端ニ各1箇ノ毛生ス　正中斑部ニ8箇ノ短毛生ス　後肢腿節ノ腹面ニハ3櫛アリテ各櫛ノ棘ノ數ハ10—13箇アリ(第一二圖版第三圖參照)　蹠節ノ第一節ハ短クシテ小サキ扁葉ヲ具ヘ第二節ハ頗ル長クシテ細ク爪ハ1對アリgastricteethハ素嚢ノ後端卽チ腹節第一第二兩節ノ縫線部ニ近クアリテ顯著ナリ

腹部　腹部ハ9節ヨリナリテ第九節ハ雌雄其形ヲ異ニス　雌蟲ハ圓錐形寧ロ倒圓錐形ナリ　第二節幅最モ廣クシテ後方ニ進ムニ從ツテ細クナルナリ　側帶ハ狹クシテ鮮明黑色ニ近シ最初ノ2節ハ稍稍長ク第三節ハ夫ヨリ短ク之ニ亞ク第四—六ノ3節ハ長サ同シク第七節ヨリ漸次長サヲ增シ第九節甚タ長クシテ後端圓シ　斑ハ第一二節ハ橫ナルモ第三—五節ノ3節ハ中央部消失ス　第六—九ノ4節ノ斑ノ中央ニテ消失セル箇所ノ中央ニ於テ縱ニ小斑アリ　第九節ハ延長シ後半分ハ狹隘ニシテ圓クナリ　周緣ニハ細長ナル總

總毛アリ　第一—七節ノ後角ニハ1箇ノ長毛ト數本ノ短毛生ス　第一二節ニハ2列ノ短毛生シ前列ニ於テハ其數4—6箇ナリ　第三—六ノ4節ニハ2列ノ短毛生シ以上各節ノ背面ニ生セル短毛ハ側方ニ近キモノハ正シキ方向ニ內方ノモノハ多クハ內方ニ向フモノ多シ　第七、八兩節ニハ3列ノ亂レタル短棘ヲ生ス　第八節ノ角ニハ1長毛ヲ生ス　第九節前方陰門ノ各側ニハ毛端背面ニ彎曲セル2列ノ總飾毛アリ　又第九節兩側ノ中央ニ各1長毛及末端ニ1對ノ硬毛生ス　腹面ニ於テハ第三節ノ胸板上ノ側方ニ2櫛ヲ有シ前櫛ハ其數13箇、後櫛ハ16箇アリ（第一二圖版第四圖參照）　第一—八節ニハ横ニ2列ノ亂レタル短毛生ス　陰門ハ細毛ヲ以テ緣ラレ僅カニ凸出ス前記ノ第九節前側方ノ2列ノ總毛ハ恰度此陰門ノ側方ニアタル（第一一圖版第五圖參照）

雄蟲ニ於テハ腹節ハ長楕圓形ニシテ全節横斑ヲ有シ縫線部透明ナリ　第一—三節最モ長ク第四—八節之ニ亞ク　角ニハ硬毛ナケレトモ多數ノ短毛ヲ有ス　第三、七、八ノ3節ノ角ニハ長細毛ヲ有シ第一—八節ニハ背面ニ3列ノ短毛生ス　側帶ハ暗褐色ニシテ「コンマ」狀ノ頭端ハ內方ニ屈ス　第九節ハ長ク後端圓ク多數ノ細毛及短毛生ス　概シテ腹部全體ハ多毛ナリ

體ハ白色ニシテ斑ハ淡褐色乃至褐色ナリ

計　　測 (mm)

			雌　　蟲	雄　　蟲
體		長	1.5 —1.6	1.2 —1.3
頭	部	長	0.28—0.3	0.25—0.27
同		幅	0.45—0.46	0.42—0.44
前	胸	長	0.12	0.09—0.1
同		幅	0.31	0.27—0.29
後	胸	長	0.12—0.14	0.1 —0.12
同		幅	0.41	0.36—0.37
腹	部	長	1.01	0.8
同		幅	0.52	0.42

	雌蟲	雄蟲
觸角	0.14	0.14
後肢腿節	0.2	0.19
同脛節	0.2	0.19
卵子長	0.6	—
同厚	0.29	—

宿主

はと　*Columba domestica;*

雉子ノ一種　*Phasianus reevesii.*

採集地

臺北新竹兩州管內各地(最モ普通ナリ)

地理的分布

獨逸　佛蘭西　英吉利　北米合衆國　濠州　日本(東京　臺灣)

第三章　イスクノセラ首科

Ischnocera Kellogg, (1896).

標徴　觸角ハ絲狀ニシテ3節或ハ5節ヨリナリ頭ノ下ニ隱蔽セラルルコトナク屢々雌雄其形ヲ異ニス　下腮鬚ヲ缺キ大腮ハ垂直ナリ食道節片 oesophageal sclerite 及夫ニ附隨スル腺 lingual glands ハ通常存ス嗉囊ハ囊狀ニ盲枝狀トナル　嗉囊腺ヲ存ス　睾丸ハ4箇ニシテ卵巣小管 eggtube ハ5箇アリ

第一節　長羽虱科

Philopteridae Burmeister, (1835).

標徴　觸角ハ絲狀5節ヨリナリ　頭ノ下面ノ窪凹中ニ横ハラスシテ常ニ頭ノ兩側ヲ遙カニ越シテ突出ス　大腮ハ縦ニ下腮鬚ハ缺如ス中胸後胸ハ通常合一シ蹠節ハ2爪ヲ有ス(鳥類寄生)

長羽虱亞科

Philopterinae Burmeister, (1835).

標徵 科標徵ト同シ

第一項 ドコフオルス屬

Docophorus NITZSCH, (1818).

標徵 體ハ幅廣ク頭ハ多クハ長サ幅ト著シキ差無シ 頭部前方ハ幅廣ク直截サレ居ルカ隆凸セルカ或ハ僅カニ凹入シ稀ニハ彎入セル截痕ヲ形成ス 額板ハ明瞭ナル縫線ヲ有シ屢々幅廣キ無色ノ前緣及側緣ヲ有ス 額板上ノ色斑signatureハ通常盾形ニシテ鋭キ後角ヲ有ス 觸角窩ノ前角ヨリ側方ニ突出シタル柱狀突起trabeculaeハ動キ易クシテ觸角第一節ノ端ニ達スルモノト夫ヲ越スモノトアリ 觸角ハ雌雄其形ヲ一ニス 第一節ハ肥厚シ第二節ハ最大ニテ第三—五節ハ稍々同シ 中胸後胸ハ有スレトモ完全ニ癒著シ肢ハ扁平ニシテ各肢ノ附著部接近ス 前肢ハ小ニシテ頭部ノ下ニ隱ル 腹部ハ楕圓形ニシテ9節ヨリナリ各節ハ略同長ナリ 雄蟲ハ最後ノ節圓ク雌蟲ハ小ニシテ截痕アリ 體色ノ斑紋側帶等ハ其後邊帶白或ハ黃褐色ニテ斑紋及側帶等ハ鮮明ナル淡褐色汚暗褐色乃至黑色ナリ 頭部ニハ觸角後頭帶ヲ有シ胸部ニテハ側方ノ覆輪ヲ有シ腹節ハ暗色ノ側帶及橫斑ヲ有シ其橫斑間ノ距離ハ雄ハ雌ニ於ケルヨリ廣シ

本屬ハ最多數ノ種ヲ含ムモ鶉鷄目ニハ全ク寄生セス 從ツテ家禽ニ寄生スルモノハ次ニ說ク1種ト家鴿ニ寄生スル *Docophorus leontodon* NITZSCH, 1818. ノ二者ノミナルモ臺灣ニテハ後者ヲ發見セス

(一) くちびろはじらみ (第三圖版第一圖)

Docophorus icterodes NITZSCH, 1874.

GIEBEL, Ins. Epi. p. 115, pl. 10, f. 8;

Pediculus dentatus SCOPOLI, 1763.

Entomol. Carniol, p. 383.

Docophorus icterodes NITZSCH,

BURMEISTER, 1832, p. 424; GURLT, 1842. p. 415; DENNY, 1842. p. 101; GRUBE, 1851. p.468; GIEBEL,

1874. p. 115, pl. X, fig. 8; PIAGET, 1880. p. 114, pl. X, fig. 1; KELLOGG, 1896. New Mallophaga, part I. pp 96-97, pl. IV, f. 1; part III. p. 58; -1908. Mallophaga, Genra Insectorum Fasc 66, p. 15; UCHIDA, 1917. dp. 51-52.

形　態

頭部　雌雄其形狀ヲ同シフス　頭部ハ長幅ニ超ユ　額板ハ著シク發達シテ頗著ニ半圓形ニ突出シ無色ニシテ之ニ有色ノ signature ヲ有シ其各側ニ三角形ノ頭ヲ有セル觸角帶カ前方ニ突出ス　此觸角帶ノ突出カ本種ノ他ノ *Docoporus* ノ種ト鑑別スル重要ノ點ナリ　觸角窩ノ前角ヨリ側方ニ突出シタル trabeculae ハ動キ易クシテ觸角ノ第一節ヲ少シ超過ス　顳顬ハ圓ク凸出シ 5 箇ノ棘ト 1 箇ノ長毛ヲ有ス　觸角後頭帶ハ淡黃褐色ナリ　觸角ハ短ク其長サ雌雄同一各節短小ニシテ第二節長シ(第三圖版第二圖參照)

胸部　前胸ハ少シク圓味ヲ有シ各側ニ長短不同ノ 2 箇ノ短毛ヲ生ス　後胸ハ前胸ヨリ稍々大ナルモ頭部ヨリ狹ク兩側ニ於テ角ヲナシ後緣ハ半圓形ニ腹部ヘ突出シ其緣ニ沿ウテ各 1 箇ノ長毛アリ(KELLOGG 氏ハ余ノ標本ト同樣ノ記載ナルモ內田氏ハ5箇ト記載セリ)

腹部　橢圓形ニシテ各節ノ兩側ニハ曲玉形乃至三角形ノ斑紋ヲ有シ其頂點ニ當ル部分ヨリハ各 1 箇ノ毛ヲ生ス　第五六兩節ハ 2 箇,第七節ハ 3 箇,第八節ハ 3—4 箇ノ長毛ヲ生ス　橫斑ハ第一腹節ニ於テハ左右ノモノ合同シ第二—七節迄ハ正中線ニテ會合セス

體ハ黃色ヲ呈シ腹節ニ於テハ特ニ淡シ　側帶ハ橙黃褐色,斑ハ黃褐色ナリ

計　測 (mm)

			雌　蟲	雄　蟲
體		長	1.5—1.7 (K氏其他1.5—1.8)	1.4 (K氏其他1.3—1.4)
頭	部	長	0.44 (K氏其他0.45—0.5)	0.4 (K氏其他0.4—0.45)
同		幅	0.43 (K氏其他0.42—0.47)	0.4
前	胸	長	0.136	0.136
同		幅	0.306	0.036
後	胸	長	0.17	0.17

	雌蟲	雄蟲
同幅	0.43	0.39
腹部長	0.82	0.69
同幅	0.64－0.76	0.52
第四節 trabeculae	0.05	0.05
觸角	0.12	0.14
後肢腿節	0.17	0.14
後肢脛節	0.19	0.17

宿主 ※印は本邦にて發見せらる

※あひる	*Anas domestica*;
※まがん	*Anser albifrons*;
さかつらがん	*Anser cygnoides*;
※まがも	*Anas boschas*;
	Anas versicolor;
	Anas carolinensis (the Greenwinged Teal);
	Podiceps cristatus;
	Platypus glacialis;
	Bernicla torguata;
	Chenalopex aegyptiacus;
くろがもノ一種	*Oidemia perspicillatata* (the Surf Scoter);
	Erismatura rubida (the Ruddy Duck);
	Aythya affinis (the Lesser Scaup Duck);
	Aythya maritima;
すずがもノ一種	*Aythya marila nearctica* (the American Scaup Duck);
	Aythya americana (the Redhead);
うみあいさ	*Mergus serrator*;
をながも	*Dafila acuta*;
	Sterna fuliginosa;
※こがも	*Nettion crecca*;

※をしどり　　*Aex galericulata.*

採集地

臺北州新莊郡新莊街 (1927年十一月　家鴨　杉木採集)

地理的分布

世界各地

第二項　ゴニオコーテス屬

Goniocotes BURMEISTER, (1835).

標徴　一般ノ特徴ハ *Goniodes* 屬ノモノト同様ナルモ通常小形種ニシテ雄ノ觸角ニハ *Goniodes* 屬ノ如キ附屬物ナシ　故ニ觸角ハ性ニ依ツテノ相違ハ少キモノナリ　雄蟲ハ或時ハ第一第二節雌蟲ノソレヨリモ大ナルモノヲ有スルコトアリ

本屬ハ主トシテ鶉鷄目稀ニ鳩鴿目ノ鳥類ノ寄生シ臺灣ノ家禽ニハ次ノ種ヲ見ル

(一)　たいわんはとまるはじらみ (新稱) (第六圖版第一、二、三圖)

Goniocotes compar var. *formosanus* n. var.

Goniocotes compar NITZSCH,

BURMEISTER, 1835. p. 431; DENNY, 1842, p. 152, pl. XIII, fig. 2; GIEBEL, 1874. p. 183, taf. XII, f. 10 et 11; taf. XX, f. 8; GURLT, 1842, Vol. viii, p. 117, pl. lv, fig. 2; KELLOGG, 1895. Vol. II, p. 512, pl. lxix, f. 10; SUGIMOTO, 1927, p. 19, pl. 5, figs 5 et 6; TASCHENBERG, 1882, p. 69; UCHIDA 1917. p. 45, pl. 1, fig. 10.

臺灣產ノ家鳩ヨリ屢々發見サルル Goniocotes 屬ノモノハ曩ニ余カ臺灣總督府中央研究所農業部彙報第五十四號 (1927年) ニ *Goniocotes compar* NITZSCH トシテ報告シ置キタルモ其後 KELLOGG, PIAGET 等ノ記錄ニ發見セサル數點アレハ余ハ一變種ト看做シテ報告セントス

形態

頭部　比較的長ク前方ハ圓ク顳顬部ニテ擴カル　前頭部ハ前方ハ凸隆シ各側ニハ微小ナル4–5箇ノ毛生ス　觸角窩ハ深カラス　其前

角ニハ1個ノ細毛ヲ有ス　觸角ハ絲狀ニシテ雌雄同形其第一節ハ大ナリ　顱頂ハ稍々突出シ顱頂角ハ雌ニ雄蟲ニテハ鈍ニシテ玆ニ2個ノ長毛生シ後頭ハ僅カニ彎入シテ其彎入部ノ兩端卽チ後頭角ニ於テハ鈍ニシテ玆ニ極メテ小ナル1棘アリ　此後頭彎入部ノ緣ニ沿ウテ彎曲セル暗褐色ノ1邊緣帶ヲ有ス　眼窩無ク眼ハ凸出セス其色黃褐ナリ　觸角帶ハ淡色ニシテ狹ク後方ハ各側共觸角窩ノ內內側ノ擴張セル暗色ノ斑點ニ終ル　大腮及食道節片 *oesphageal sclerite* ハ暗褐色ナリ　大腮ノ前方ニアル口窩ハ鮮明ナル1帶ニ依テ限界ツツケラル

胸部　前胸ハ短廣梯形ニシテ其前方狹ク側後角ニハ1個ノ長毛生シ鮮明ナラサル褐色ノ側覆輪アリ　後胸ハ大ニシテ角張リツツ其側緣圓味ヲ帶ヒ角ニハ2個ノ長毛生ス　ソレヨリ稍々距リテ雌蟲ニハ2個,雄蟲ニハ1–2個 (Kellogg 氏ニ此記載無シ) ノ長毛生ス　後緣ハ稍鈍角ヲナシテ腹部ヲ覆フ　標本ニ依リテハ第一腹節ノ前半ヲ縱ニ切半スル程遙カニ後方ニ突出スルモノアリ　此角ノ兩側ニハ各1個ノ長毛生ス (Kellogg 氏ニハ此記載無ク內田氏ハ此毛ノアルコトヲ氏ノ論文ニ記載セリ) 而シテ此長毛ハ第四腹節後縫線ニ達ス　肢ハ短クシテ甚タ丈夫ナリ　背部邊緣ノ marking 及撒布セル棘毛ヲ有ス　卽チ腿ハ外方ニ2個ノ短キ細毛生シ脛節ハ外方ニ2個ノ長短不同ノ細節毛內方ニハ2棘ヲ有ス　蹠節ニハ2小棘ト比較的短キ爪ヲ具フ

腹部　雌蟲ハ長楕圓形雄蟲ハ倒卵形ニシテ後方ハ截切セラレタル觀アリテ第九節中央ニテ圓ク突出ス　各節ノ後角ニ於テハ少シク突出シ雌蟲ノ第二,三兩節ニハ1毛,第四—七節ニハ2毛ヲ有ス　而シテ Piaget 氏等ノ說クカ如ク此後角外ノ毛生ノ外裸ナリトノ說ニ反シテ背面ニ於テ雄蟲ハ第一—四節ノ正中線ニ接近シテ1細毛ヲ側帶ノ內方ニテ第一,二兩節ニハ1細毛,第三—五節ニハ2細毛,第六節ニハ1長毛ヲ雌蟲ハ其第三—六節ニ1細毛ヲ見ル　各節間ノ縫線ハ鮮明ナリ　側帶ハ末節以外ハ皆竹節狀ノ複雜ナル彎曲ヲ呈シ其前

外方ヨリ出テタル狹キ突起ハ內彎シツツ後進シ縫線ニ於テ側帶ノ後外側ト結合ス　雌蟲ニテ第一―七節,雄蟲ニテ第一―六節ニ於ケル横斑ハ其色淡ク亞三角形ヲナシテ其周緣殊ニ尖端濃色トナル　雌蟲ノ末節ハ圓クシテ小ナル截痕アリテ其各側ニ長短不同ナル2細毛生ス(第一五圖版第五圖)　*valvulae* ハ凸出シテ通常2側帶ヲ有ス　雄蟲ニ於テハ第八節甚タ短ク第九節ノ後方ニ褐色ノ覆輪アリテ後方ノ半圓突起ノ邊緣ニハ僅少ノ短キ硬毛生ス　其內1箇ハ他ノモノヨリ非常ニ長シ　*genitalia* ハ狹長ニシテ前端第三腹節ノ前縫線ニ達シ附屬突起ハ短ク弓狀ニ彎曲ス(第一五圖版第六圖參照)

體ハ汚白色又ハ帶黃色ニシテ此帶黃色ノモノハ腹部ノ斑ノ鮮明ヲ缺クモノアリ　側帶ハ帶青褐色ナリ

玆ニ變種ナリト認ムル特徵ハ次ノ如シ

1. 後頭角ニ小棘ノアルコト
2. 眼ノ內後方ニテ後頭帶ノ外側ニ1細毛ヲ有スルコト
3. 雄蟲ニテハ前項ノ細毛ノ外ニ眼ノ後方ニテ稍々邊緣ニ近キ處ニ1細毛ヲ見ルコト (Piaget氏外數氏ノ *Goniocotes compar* ニ於ケル記載ニハ見サルモKellogg氏ノ雄蟲ノ圖ハ余ノ標本ノ頭部ノ圖ト同一ナリ) (第一五圖版第三四圖參照)
4. 後胸後緣ノ角ノ兩側ニ各1箇ノ長毛生ス (Kellogg氏ノ *G. compar* ニ於ケル論文ニハ此記載無ク內田氏ノ圖ニハ之ト同樣ノモノアリ) 而シテ此長毛ハ第四腹節ノ後縫線ニ達ス(此點ハ內田氏ノ圖ト異ナル處トス) (第一五圖版第三圖參照)
5. Piaget氏等ノ說クカ如ク腹節後角ノ毛生ノ外ハ裸ナリトハ相違シテ腹節背面ニ於テ雄蟲ニハ第一―四節ノ正中線ニ接近シテ1細毛ヲ側帶ノ內方ニテ側横斑ノ部ニテ第一,二兩節ニハ1細毛ヲ第三―五節ニハ2細毛,第六節ニハ1長毛ヲ生シ雌蟲ニハ側横斑ノ部ニ其第三―六節ニ1細毛ヲ見ル　此腹部ノ毛生ノ横樣ハ又變種ト認ムルヲ得ヘシ

計 測 (mm)

	雌蟲	雄蟲
體長	1.3 −1.5	1.0 −1.1
頭部長	0.34−0.39	0.29−0.34
同幅	0.42−0.44	0.35−0.37
前胸長	0.09−0.12	0.08−0.1
同幅	0.22−0.26	0.2−0.22
後胸長	0.12−0.15	0.1−0.12
同幅	0.31−0.36	0.31
腹部長	0.79	0.5
同幅	0.55	0.4
觸角	0.17−0.18	0.17−0.2
後肢腿節	0.13	0.11
後肢脛節	0.14	0.11

宿 主

はと *Columba livia domestica.*

採 集 地

臺北、新竹兩州管內各地(他州廳管內ノ調査未了ナルモ其存在ハ確實ナリ 而シテ臺灣產家鴿ノ寄生率ハ約90％ナリ)

Goniocotes compar var. formosanus n. var

This common parasite of the Formosan Domestic Pigeon is very closely allied to *Goniocotes compar* Nitzsch, and was reported by me as the latter.[1] After careful study of thousands of Formosan materials I have found that this Mallophaga does not agree the descriptions of Kellogg and Piaget for *Goniocotes compar*. Now I wish to report it in this paper as a new variety.

Description of the female. Body, length 1.3-1.5 mm., width .55 mm.; pale yellowish brown, with darker lateral band.

Head, length .34-.39 mm., width .42-.44 mm.; front broad, convex, with 8-10 short prickles; antennae in a shallow emargination, first segment stout; anterior angle of

1) Sugimoto, M., Bulletin from Department of Agriculture, Government Research Institute, Formosa. No. 54, pp. 19-20, (1927).

antennal emargination with a long prickle; ocular emargination absent; eye not prominent, yellowish brown, with a long prickle on the intero-posterior of the eye; oral fossa marked off from mandibles by a distinct band; temples angled, bearing two very long backwardly projecting hairs; posterior margin slightly concave in middle, with one spined obtuse angle at each end of the concavity; head brownish, with light coloured narrow marginal frontal band which ends posteriorly on each side in an expanded darker spot inside the antennal emargination; mandibles and oesophageal sclerite dark brown; an elliptical brown ocular blotch and a sinuous dark brown occipital border along the concave curve of the occipital margin.

Prothorax, very narrow, short, trapezoidal, with lateral margins converging anteriorly, and posterior margins flatly convex; latero-posterior angles slightly produced and obtuse, bearing a strong hair; lateral borders indistinctly brownish.

Metathorax, with blunt latero-angles, furnished with two strong hairs; posterior margin obtusely angled, bearing two pairs of hairs of equal distances along the margin, the inner hairs long reaching the fourth segment of abdomen.

Legs: short, stout, concolorous with body, with dorsal marginal markings and some scattered spines and prickles-viz.; femur bearing two extero prickles, tibia two prickles and two intero spines, tarsus two spines and rather short claws.

Abdomen elliptical; posterior angles of segments projecting and bearing, except on segment I, one or two rather short, strong, finely pointed hairs; suture distinct; segment I equal in length to segment II at sides but short in middle region, pale to uncolored; all segments with faint subtrigonous lateral transverse blotches and conspicuous lateral bands, the latter, except on the last segment, look just like bamboo-knots; antero external side of the curved lateral bands with narrow, backwardly projected, process, which is incurving and connects with the postero external side of the bands at the sutures; the last segment flatly rounded behind, with a slight angular emargination, the margin bordered by a narrow uncolored space; valvulae convex, with two lateral bands.

Male. Body length 1-1.1 mm., width .4 mm.; head length .29-.34 mm., width

.35-.37 mm.; abdomen length .5 mm., width .4 mm., ovaliform; median uncolored region of abdomen relatively larger than in female; lateral transverse blotches no more distinct than in female, but lateral bands more strongly chitinized; apex broad, nearly straight but with projecting rounded ninth segment which is colored and furnished with a few short strong marginal hairs; genitalia extending as far as third abdominal segment forwards.

The points that I recognize as a diagnosis of the new variety are as follows :-

1. At each end of the concavity of the occiput there is a spine.
2. On the intero-posterior of the eye there is a long prickle.
3. On the male there is a long prickle behind the eye and near the lateral margin of tho temple.
4. On both sides of the backwardly projecting angulated thorax there is a long hair.
5. In Piaget's and Kellogg's descriptions of *Goniocotes compar* Nitzsch, the abdomen is bare except the posterior angles of the segment, but in the new variety, in the region of the lateral transverse blotches on the 3rd to 6th abdominal segments there is a finely pointed prickle in the female and one or two prickles in the male. On both sides of the median line of the dorsal face of the 3rd to 5th abdominal segments of the male there is a prickle.

(二) ひめにはとりはじらみ (第三圖版第三圖)

Goniocotes hologaster NITZSCH, 1874.

GIEBEL, Ins. Epiz. 184.

Ricinus gallinae DE GEER, 1778.

Mémoires pour servir a l'histoire des Insectes. Vol. VII. tab. IV, f. 13.

Goniocotes hologaster NITZSCH,

GURLT, 1842. Vol. VIII, p. 118, tab. IV, f. 1; PIAGET, 1880, p. pl. 19, f. 6; UCHIDA, 1917. p. 45, pl. 1, fig. 11.

形　　態

頭部　長サ幅ニ及ハス　(NITZSCH 氏ハ長幅同一ト記載ス)　前縁ハ丸クシテ半圓形ヲ呈シ玆ニ極メテ微小ナル10箇ノ毛生ス　觸角帶ハ前方ニ擴カリ觸角ハ雌雄同形ニシテ第四節最小第五節ハ略第二節ニ同シク末節端ノミニ極メテ小ナル毛生スルノミニテ他ノ節ニハ毛及棘無シ　顳顬部ハ小ニシテ後縁ニ2箇ノ長毛生ス　後頭ハ陷凹シ其兩端角ヲ形成シ玆ニ1小棘アリ　(第一五圖版第一圖參照)

胸部　比較的短ク其長サ頭部ニ及ハス　前胸ハ兩側鋭ク突出シテ各1箇ノ長毛ヲ有ス　後胸ハ幅廣ク兩側突出シテ角ニ2箇其後内方ニ2箇ノ長毛生ス　肢ニ於テハ後肢脛節ノ背面ニ毛又ハ棘無シト NITZSCH 氏ハ説クモ余ノ標本ニ於テハ1短毛ヲ見ルナリ　跗節ハ稍々發達ス　(第一五圖版第二圖參照)

腹部　雌蟲ニテハ稍發達シ楕圓形ニシテ第四節幅最モ廣ク各節兩側ニハ1—3箇ノ毛生ス　側帶ハ波頭形ニ屈曲シ縫線ノ方ニ擴延シ濃黄褐色ナリ　腹面ハ背面ヨリ廣カラス背面ニハ四角形ノ横斑アリ其色淡黄褐色ナレトモ鮮明ナリ　縫線ハ前位ノ3節間ニ於テハ明瞭ナリ　又末節ニ於テモ明瞭ナリ　僅カニ半月狀截痕ニ依ツテ2瓣ニ分レ各側ニ2短毛生ス　擴大カノ大ナル鏡下ニ於テ腹部ノ中央ニ縦ニ1列ノ小毛生ス　陰門ハ小ニシテ凸隆ス　雄蟲ハ雌蟲ヨリ遙カニ小ニシテ圓形ニ近ク末節ハ圓形ニ凸出シ各側ニ3短毛生ス　第八節ハ尖レル突起ノ爲ニ周縁明瞭ナラス　genialia ハ短ク側方突起ハ僅カニ屈曲シ陰莖ヨリ長ク挺出ス

體ハ一般ニ汚黄色ニシテ胸部ニ於テ稍々暗色ナリ　帶ハ帶褐色ナリ

計　　測 (mm)

	雌　蟲	雄　蟲
體　長	1.3 —1.6	0.8—0.9
頭　部　長	0.38 - 0.42	0.25
同　幅	0.44—0.56	0.33

	雌蟲	雄蟲
胸部長	0.2 —0.23	0.12
同幅	0.38 - 0.51	0.3
腹部長	0.85 —1.07	0.5
同幅	0.66 —0.88	0.5
觸角	0.14	0.12
後肢腿節	0.12	0.1
後肢脛節	0.1	0.09

宿主 (※印臺灣)

※にはとり　　*Gallus domesticus* ;

※野鷄　　*Gallus bankiva* ;

Anas tadorna ;

Ortyx virginianus ;

Euplocamus cuvieri.

採集地

臺北市圓山動物園(1929年一月　野鷄　杉本採集)

各州各地　(　鷄　杉本採集)

地理的分布

歐米各地　濠州　本邦(內地、臺灣)

第三項　ゴニオデス屬

Goniodes Nitzsch, (1818).

標徵　體大ニシテ幅廣ク頭部ハ通常前縁圓ク外部ノ顳顬縁角立ツ又頭部ハ兩性其形ヲ異ニス　觸角モ亦兩性ニ依テ異ルナリ　雄蟲ノ第三節ニハ常ニ附屬物ヲ具フ　第一節ハ長大ニシテ附屬物ヲ有スルコトアリ　前胸ハ通常不等四邊形ニシテ後胸ハ大ニシテ側縁圓味ヲ帶フ　腹部ハ通常廣楕圓形ナリ　側帶ハ廣ク體色通常帶白黃色又ハ帶蒼白黃色ニシテ橫斑ハ暗色斑紋ハ暗褐色乃至黑色ナリ

本屬ハ主トシテ鶉鷄目稀ニ鳩鴿目ノ鳥類ニ寄生シ臺灣ノ家禽ニハ次ノ種ヲ見ル

(一) かくあごはじらみ (第四圖版第一.二圖)

Goniodes dissimilis NITZSCH, 1874.

GIEBEL, Ins. Epiz. p. 201, pl. XX, f. 9. NITZSCH, 1818. p. 294; DENNY, 1842. p. 162, tab. XII, f. 6; PIAGET, 1880. p. 268, pl. 1, f. 3; UCHIDA, 1917. p. 42, pl. 1, f. 1.

形　　態

頭部　雄蟲ニ於テハ稍々小サク兩性ニ於テ其形ヲ異ニス幅ハ長サヨリ大ナリ　前頭前方ハ抛物線狀ヲ呈シ其緣ニ1—2箇ノ短毛生ス雄蟲ノ觸角窩ハ幅廣ク且深ク窩ノ前角ハ突出ス　雄蟲ノ觸角ハ雌蟲ノ約2倍長アリ　第一節ハ他ノ節ヨリモ色濃ク長大ニシテ前方ニ1帶アリ　內側ニ比較的長キ1短毛ヲ有ス　第二節ハ第三節ヨリ稍々長ク垂直ニ樹立セル短毛ヲ有ス　第三節ハ遙カニ短ク小突起ヲ有シ該突起ハ同節ノ長サヨリ稍々長シ　第四,五節ハ細長ナリ(第一四圖版第二圖參照)雌蟲ノ觸角ハ觸角窩ノ內ニ淺ク樹立シテ短ク且細小ナリ　第一節ハ他ノ節ヨリ稍々大ナリ (內田氏ハ第二節最大トアルモ余ノ種ハ PIAGET 氏ト一致ス) 眼ハ雄蟲ニテハ半球形ニシテ雌蟲ハ僅ニ突出ス　共ニ1長毛生ス　顳顬ハ雄蟲ニテハ圓ク1棘ト3長毛ヲ有シ中央ノ毛ハ他ノ2毛ヨリ細小ナリ　雌蟲ニ於テハ顳顬角ハ判然ト鋭ク2長毛(PIAGET 氏ハ1毛ト記ス)及1棘ヲ有シ顳顬ノ兩側ハ非常ニ擴大突出ス　後頭角ハ鈍ク(雌蟲ハ稍々鋭シ)　極メテ小ナル1棘アリ(PIAGET 氏ハ該部棘ナリト記載ス) 後頭ハ凹ミテ胸上ニ突出シ1邊緣帶ヲ有シ後頭帶ハ暗色ニシテ眼ノ前方迄延長ス　觸角帶ハ大キク前方ニ於テ幅大ナリ　短毛ノ樹立セルカ爲明瞭ナル溝ノ1列ヲ形成シ其溝ハ觸角窩ノ前緣迄突出ス　口窩ハ廣大ナリ　大腮ハ比較的小ナリ窩ニハ1短毛生ス (第一四圖版第一圖參照)

胸部　前胸ハ不等四邊形ニシテ後部ハ僅カニ圓クナリ屈曲セル1側帶ヲ有シ後角ノ鋭キ部ニ1長毛生ス　後胸ハ遙カニ大ニシテ其後緣ハ腹節ノ上ニ尖鋭ニ突出スレトモ其尖頂圓味アリ　兩側ニ於テ殆ト平行セル1大側帶ヲ有スルカ彎曲シテ其前方ニテ鋭クナレリ

側方ニハ2長毛生シ角ニ近ク稍々短キ1毛ト後縁ニ非常ニ接近セル他ノ2毛アリ　卽チ各側ニハ全證ニテ5箇ノ毛生ス　肢ハ長ク腿節ニハ大ナル1帶ヲ有シ背部ニ3短毛ヲ生ス　脛節ニハ背部ニ1帶ヲ有シ外方ニ2短毛內方ニ3—4棘ヲ有ス　跗節ハ短ク若干ノ短毛生ス　爪ハ長ク僅カニ彎曲ス

腹部　雄蟲ハ雌蟲ヨリ遙カニ短ク倒卵形ニシテ第一節ハ他ノ節ヨリ長ク第八節ハ甚タ短ク大ナル側斑ヲ有ス　第九節ハ突出シテ圓ク半月狀ノ1斑ヲ有シ細長ナル毛ノ1列ヲ有ス　側帶ハ弧形ニシテ其彎曲部ニ1突起ヲ有ス　各節ニハ中央ニ2毛側方ニ近ク2毛生ス　角ノ他ノ毛ハ夥シク(3—4箇)第五—七節ノ角ニ於ケル毛ハ著シク他ノ者ヨリ長ク且丈夫ナリ　genitaliaハ僅カニ著色セリ

雌蟲ノ腹節ハ長楕圓形ニシテ中央ノ毛ハ6—8箇ノ多數ヲ算ス　第八節ハ第九節ヲ包ミ且第九節ヲ超加ス　腹面ニ於テハ2箇ノ大ナル長毛ヲ有シ且細毛ノ1列樹立セリ　外方ニハ暗色ノ帶緣ニ平行シテ存ス　第九節ニハ單獨ナル短毛ヲ有シ2裂シテ深キ截痕ヲ顯シ下方ニ稍々深クナレリ　腹面ニハ valvulae 凸出シ毛深キ2箇ノ小突起其側方ニ堤防ノ如ク之ヲ支フ(第一四圖版第三圖參照)

體ハ汚白色ニシテ腹部ノ斑ハ其指示ニ苦シム　帶ハ褐色ナリ

計　測 (mm)

	雌　蟲	雄　蟲
體　長	2.8	2.0—2.2
頭部長	0.85	0.73—0.77
同　幅	1.0	0.83—0.85
前胸長	0.17	0.15
同　幅	0.5	0.5
後胸長	0.41	0.34
同　幅	0.73	0.74
腹部長	1.56	1.16—1.19
同　幅	1.45	1.12—1.19

	雌　　　　蟲	雄　　　　蟲
觸　　　角	0.34	0.61
後　肢　腿　節	0.48	0.43
後　肢　脛　節	0.43	0.43

宿　　主

にはとり　　*Gallus domesticus*;

やまどり　　*Phasianus scintillans*;

あかやまどり　　*Phasianus soemmerringi*;

かうらいきじ　　*Phasianus colchicus karpowi.*

採　集　地

臺灣各地 (最普通)

地理的分布

歐米各地、印度、濠州、「ニユジーランド」「フイリツピン」支那(報告ヲ見サレトモ支那輸入鷄ニテ余採集ス) 本邦(内地、臺灣) 其他亞細亞各地ニ存スルモノト信ス

(二) つのはじらみ (第四圖版第三圖)

Gonoides stylifer Nitzsch, 1874.

Giebel, Ins. Epiz. p. 200, pl. 13, f. 1;

Pediculus meleagris Schrank, 1781.

Enumeraio Insectorum Austriae Indigenorum, Augustae Vindelicorum. p. 504;

Goniodes stylifer Nitzsch,

Denny, 1842, p. 156, tab. XII, t. 2; Gurlt, 1842. Vol. VIII, p. 421, taf. IV, f. 7-8; Nitzsch, 1818. p. 294; Piaget, 1880, p. 264, pl. 22, f. 1; Uchida, 1917. p. 42, pl. 1, fig. 5.

形　　態

頭部 雌蟲ニ於テハ雄蟲ヨリ稍大ナリ 而シテ前頭部ノ前方ハ稍々圓ク10箇ノ短毛ヲ具フ 雄蟲ノ前頭竇ハ雌蟲ヨリ深ク雌蟲ノ前頭竇ノ内面ハ彎曲セス 觸角ハ雄蟲ニ於テハ頗ル強固ニシテ僅カニ色彩アリ 其第一節ハ長大ニシテ内側ニ於テ短キ帶ヲ有シ其帶

ハ該節ノ末端ニテ1毛ヲ具ヘタル1小突起ニヨリテ限界サル　第二節ハ短ク第三節ハ明瞭ニ擴大シ第四節ハ長カラス　雌蟲ニ於テハ觸角ノ各節ハ漸次其大ヲ減ス　前頭嚢ノ後方ニ於テ頭部ハ狹ク雄蟲ニ於テハ眼ノ後方ニ於テ輕微ニ中膨レトナル　雌蟲ニ於テハ顳顬ノ兩側ハ眞直ニ擴カル　眼ハ突出シテ長毛生ス　顳顬角ハ尖レル長角ヲ形成シテ後方ニ延長シ此角ニハ他ノ長毛ノ約2倍長ノ1毛生ス　雌蟲ノ顳顬角ハ稍々鈍角ニシテ外側ニハ雌雄共等距離ニ於テ3短毛ヲ具フ (PIAGET氏ハ4毛ト記載ス)　後頭角ハ尖鋭ニシテ其角ニ1短毛ヲ其外方ニ1小棘ヲ有ス　後頭ハ各側ニ於テ陷凹シ帶黑色ノ1帶ヲ有シ其帶ハ顳顬角ノ尖端ニ到ル迄漸次狹隘トナル顳顬帶ハ眼ノ方ニ擴マレリ　觸角ノ内縁鋸齒狀ヲ呈シ彎曲セル部ニ於テ帶黑色ナリ　口窩ハ比較的小サク大腮ノ兩根ハ長ク下唇ハ幅廣シ (第一六圖版第一圖、第一七圖版第一圖參照)

胸部　前胸ハ兩側ニ於テ漸次擴大シ不等四邊形ヲナシ雄蟲ニテハ少シク長ク角ニハ1長毛ヲ生シ側帶ハ僅ニ彩色サレ角ニ於テ稍々暗色ヲ呈ス　後胸ハ兩側ニ於テ漸次擴大シテ後方ハ腹節ノ方ニ尖鋭トナリ其尖端圓味ヲ帶フ　前方ニ於テハ内後方ニ屈曲スル側帶ヲ有ス　横斑ハ後縁ニ於テ合同ス　各角ニハ2長毛生シ其内側ノ後縁ニ沿ウテ亦2長毛生ス　胸面ニ於テハ前中兩基節間ニ横斑アリ中基節間ニハ三角形ノ正中斑アリテ其斑ノ後方ハ底邊トナリ他ノ2邊ニ沿ウテ各6長毛ヲ生シ其前位ノ1毛ハ他ノ5毛ヨリ分離セリ (第一六圖版第一圖參照) 肢ハ雄蟲ニ於テハ稍々強固ニシテ僅カニ著色ス　腿節ハ太ク2個ノ棘ノ樹立ニヨツテ中絶セル背帶ヲ有ス　脛節ハ雌ニ於テハ腿節ヨリ稍々長ク外側ニハ2毛ヲ有ス　内側ニハ2棘ト他ノ部ニハ若干ノ棘散在ス　舌狀突起ハ中等度ニ發達シ爪ハ格別ニ彎曲ス

腹部　雄蟲ハ長卵圓形ニテ末節尖鋭ナリ　前位ノ節ハ等長ナリ第八節ハ全部著色サレテ無色ノ横溝ニ依テ第七節及第九節ト分離サル

末節ハ内部ニ於テ各側ノ尖端ニ延長スル側帶ヲ有ス　此2尖端間ニアル陰莖ハ長ク圓筒形ナリ　此陰莖ハ自然ノ位置ニ於テ2尖端間ニ挺出シ居ルモノニテ余ハ PIAGET 氏ノ如ク總テノ標本ヲ檢シテ一ツモ陰莖ノ挺出シ居ラサルモノナカリキ (第一六圖版第二、三、四圖) 末節尖端ハ無色ノ部分ニヨツテ該節ノ他ト隔絶セラルル觀アリ

前位ノ七節ニ於テハ側帶ハ幅廣ク縫線ノ方ニ彎曲シテ其側縁ハ半圓形ヲナシ內方ニ無色ノ場所ヲ存シ其中央ニ氣門ヲ顯ハスナリ　橫斑ハ稍々舌形ヲナシテ其後側ハ色濃ク前側稍々淡シ　腹節中央部ニテハ第一節ニ6箇(內2箇ハ後胸後緣ニ覆ハル)　第二節ニ7—9箇,第三—四節ニ7箇,第五節ニ6箇,第六節ニ5箇,第七節ニ3箇ノ中等長ノ毛生ス　又以上各節ノ兩側ノ氣門ノ後內側ニ孤立セル1毛ヲ有ス　第一節ノ角ニハ毛生無ク第二—七節ニハ3—5箇,第八節ニハ僅カニ2箇ノ毛ヲ有シテ他ノ節ノモノヨリ長シ　第九節ニハ尖端ノ外側ニ2短毛,內側ニ1小短毛生ス　腹面ニ於テハ第一節ニ4箇,第二節ニ6箇,第三節ニ11箇第四—五節ニ10箇,第六—七節ニ4箇,第八節ニ2箇ノ中等長毛生ス

雌蟲ノ腹部ハ雄蟲ノモノヨリ發達シテ長卵形ヲ呈ス　橫斑ハ稍々幅廣ク四邊形ニシテ縫線ニ於テ他ノモノト非常ニ接近ス　末節ハ雄蟲ニ於ケルカ如キ形ヲナシテ其2尖端ハ著色サレ深キ截痕ニテ分離サレ互々ニ孤立シタル2小葉トナル(第一七圖版第二、三圖)　腹面ニ於テ valvulae ハ幅廣ク2葉ニ分レ非常ニ緻密ナル短毛附麗ス

雌蟲ノ毛生ノ工合ハ背面ニ於テ第一節ニ雄蟲ト同シク6箇,第二節ハ10箇,第三—五節ハ12箇,第六節ニ6箇,腹面ニ於テハ第一節ニ2箇,第二節19箇,第三節21箇,第四節ニ19箇,第五節ニ17箇,第六—七節ニ2箇ノ毛生ス　角ノ部ノ毛生ハ雄蟲ニ似タリ

體ハ汚白色ニシテ各斑ハ灰褐色,帶ハ濃灰褐色ニテ後頭,後胸及第九節ノ帶ハ帶黑色ナリ

計　　測 (mm)

	雌蟲	雄蟲
體長	2.89—3.3	3.4
頭部長	0.76—0.81	0.76
同幅	1.19—1.27	1.02
前胸長	0.28—0.3	0.34
同幅	0.59—0.68	0.68
後胸長	0.50—0.62	0.51
同幅	1.15—1.19	1.1
腹部長	2.01	2.04
同幅	1.5—1.7	1.36
觸角	0.39—0.44	0.61—0.62
後肢腿節	0.57—0.59	0.47—0.51
後肢脛節	0.51	0.51

宿　　主

しちめんてう　　*Meleagris gallopavo.*

採　集　地

臺北市圓山動物園　　(1929年一月　杉本正篤採集)

臺北市富田町　　(同　二月　吉田忠之採集)

地理的分布

歐米各地、濠洲、比律賓、印度、「グワム」島、「エジプト」「マダガスカル」本邦(內地、臺灣)等

第四項　長羽虱屬

Lipeurus Nitzsch, (1818).

標徵　體細長ニシテ頭ハ通常狹長圓キ前緣ヲ有ス　額板ハ通常明瞭ナル signature ヲ有ス　而シテ明瞭ナルカ或ハ不明瞭ナル縫線アリ　觸角ハ5節ヨリナリ雌雄其形ヲ異ニス　雄ノ觸角ハ第一節長クシテ肥厚ス　稀ニ附屬物アリ　第三節ハ通常附屬物ヲ有シ其附屬物ハ折々稍々小ニシテ目立タサルコトアリ　雌ノ觸角ハ簡單ニシテ絲狀ヲナシ第一節最モ肥厚ス　第二節ハ最長ナリ　前胸ハ小ニシテ後胸ハ通常少クトモ前胸ノ2倍長アリ　屢中胸及後胸ノ合併

ヲナセル側方ノ收縮ヲ示ス　各肢ハ遙カニ離レテ居ルナリ　胸緣ニ肢ノ第二第三對ノ基節窩ノ接近ハ本屬ノ特徵ノ一ナリ　基節ハ長ク而シテ胸ノ側緣ヲ越シテ著シク突出セリ　腹部ハ細長ニシテ癒合シ八九節ヲ有ス　體ハ白色又ハ褐色ナリ　且之ニ帶蒼白褐色乃至黑色ノ側帶及斑紋ヲ有ス

本屬ノモノハ臺灣ノ家禽ニ於テ次ノ5種及1變種ヲ見ル

(一) はとながはじらみ (第五圖版第一三圖)

Lipeurus baculus Nitzsch, 1874.

Giebel, Ins. Epiz. p. 215, pl. xvi, f. 8, 9; pl. xx, f. 3.,

Pulex columbae majoris Redi, 1686.

Opusculorum Pars I, Sive experimenta circa generationem Insectorum, pl. ii.;

Nirmus filiformis Olfers, 1817.

De veg. et Anim. Corp, p. 90.;

Pediculus columbae Linné, 1767.

Systema Natura.;

Lipeurus antennatus Giebel, 1874.

Ins. Epiz. p. 215.;

Lipeurus angustus Rudow, 1870.

Zeitschr. f. ges. Naturwiss., Vol. xxxvi, p. 137.

Lipeurus baculus Nitzsch,

Burmeister, 1832. p. 434; Denny, 1842. p. 172, pl. xiv, fig. 3; Giraud, 1859. p. 140; Gurlt, 1842. p. 424, pl. viii, fig; Kellogg, 1896, pp 506-507, pl. lxviii, figs 4, 6; Nitzsch, (ed Giebel) 1866. Zeitschr. f. ges. Naturwiss, Vol. xxviii, p. 379; Osborn, 1891. p. 38, with fig; Piaget, 1880. p. 303, pl. xxv, fig. 2; Sugimoto, 1927, pp 20-22, pl. 6 figs 7-12; Taschenberg, 1882. p. 123; Uchida, 1917. pp 46-47; pl. 1, fig. 3.

形　態

頭部　狹長ニシテ長三角形ヲ呈シ圓キ前緣ヲ有シ前方ニテ僅カニ狹窄サル　縫線ヲ有スル額板ハ中央ニ於テ無色ノ條ニヨリテ二分サル　前緣ニハ6箇ノ細毛ト2箇ノ鎖骨狀小突起ヲ有ス　觸角ハ

深ク其前角ニハ鋭キ trabeculae ヲ有ス　雄蟲ノ觸角ハ僅カニ著色シ第一節ハ他ノ節ヨリ發達シ其基底部ハ膨大ス　第二節ハ 3–4 箇ノ短毛ヲ有ス　第三節ハ第二節ノ半長ニシテ側方ニ強大ナル突起ヲ有ス　第四,五ノ兩節ハ細長ナリ　雌蟲ノ觸角ハ第二節カ他ノ節ヨリ長シ　眼ハ小ナリ　顱頂ハ突出セスシテ其緣殆ト平行シ眼ノ部分ニテ急ニ角張リヲ1邊緣帶ヲ有ス　後頭ハ窪メリ　後頭帶ハ不明瞭ナリ　眼帶ハ前方ニテ斜トナル　觸角帶ハ帶黑色ニテ不等ノ幅ヲ有シ縫線ニ於テ中絕シ而シテ縫線ノ方ヘ輕微ニ膨ル(第一八圖版第一,二圖參照)

胸部　前胸ハ四邊形ニシテ其角ハ無毛無棘ナリ　後方ハ僅カニ圓味アリ　後胸ハ前胸ノ約2倍長ニテ腹節上ニ少シク凸出シ邊緣ニ於テハ殆ト平行ニテ僅カニ中膨レトナリ前 $\frac{1}{3}$ 部ニ於テ狹隘トナレル觀アリ　角ニ於テハ特別ニ長キ3箇ノ毛ヲ有シ前記ノ狹隘トナレル部ニ於テ停止スル大ナル側帶ヲ有ス　後肢ハ長クシテ丈夫ナリ

第三基節ハ延長セリ　腿節ハ丈夫ニシテ若干ノ細毛ヲ有ス　脛節ハ顯著ニ短ク4,5ノ棘ヲ內側ニ而シテ節ノ端ノ背側ニ1短細毛ヲ有ス　脛節ノ舌狀突起ハ僅カニ發達ス　爪及蹠節ハ比較的短シ

腹部　狹長ニシテ雌蟲ニ於テハ稍々楕圓形ニテ幅稍々廣シ　雄蟲ハ僅カニ倒卵圓形ヲ呈シ第五節ニ於テ幅最モ廣シ(PIAGETハ第六節幅廣シト記ス)側帶ハ濃色ニテ常ニ關節ヲ超過ス　橫斑ハ僅カニ著色シ四角形ニシテ第一—七節ニテハ無色ノ條ニヨツテ分離サル　第八節ハ全體著色サレ第一節ハ他ノ節ヨリ稍々短シ　雄蟲ノ末節ハ突出シテ後方ニ截痕アリ非常ニ細キ5箇ノ毛ヲ有ス　雌蟲ニ於テハ第九節ハ2分シ其各葉ハ尖リ2箇ノ短棘ト若干ノ短毛ヲ有ス　各腹節ノ角ニ於テハ2長毛(第八九節ニテハ2—4箇ノ長毛)生ス　雌蟲ノ valvulae ハ彎入シ兩側ニ2縱帶ヲ有ス

體ハ汚白色ニシテ斑ハ鮮黃色乃至淡黃褐色ニテ帶ハ殆ト黑色ナリ

卵子ハ長楕圓形ニシテ一端尖リ他端ニ卵蓋ヲ有シ其色灰白色ニシテ羽瓣ノ羽枝間ニ羽枝ニ竝行シテ膠著ス（第五圖版第三、四圖參照）

計　　測 (mm)

	雌　　蟲	雄　　蟲
體　長	2.2 —2.8	1.8 —2.3
頭部長	0.54—0.55	0.51—0.56
同　幅	0.27—0.29	0.26—0.29
前胸長	0.14—0.15	0.15—0.17
同　幅	0.19—0.2	0.2 —0.21
後胸長	0.26—0.31	0.32
同　幅	0.26—0.27	0.27
腹部長	1.65	1.28
同　幅	0.32—0.42	0.3 —0.35
觸　角	0.29—0.34	0.35—0.39
後肢腿節	0.31	(第1節0.12—0.14) 0.34
後肢脛節	0.26	0.26
卵子長	0.68—0.74	—
同　厚	0.19—0.22	—

宿　　主

いへばと(どばと)　*Columba domestica;*

かはらばと　*Columba livia intermedia;*

Columba turtur;

Columba palumbus;

Columba bistorta;

Columba migratoria;

Columba capensis;

Sula alba;

Charadrius minor;

Falco aesalon;

Phaps chalcoptera;

Macropyia reinwarti;

Myristicivora reinwarti;

Carpophaga pinion;

Carpophaga zoeae;

Carpophaga luctuosa;

Carpophaga magnifica;

Leucosarca plicata;

Eutrygon terrestre;

Ptilopus puellus;

Anous stolidus;

Geospiza fuliginosa;

Nesomimus melanotis;

Camarlynchus productus;

Nesopelia galapagensis.

採　集　地

臺北市富田町	(1916年三月	案嶋	杉木採集)
同	(1923年二月	同	同　)
同	(1927年二月	同	同　)
新竹州中壢郡楊梅庄	(1917年二月	同	同　)

地理的分布

歐米各地、濠洲、「ニユジーランド」「グワム」島、「ガラパゴス」島、「フイリツピン」

(二) がてうながはじらみ (新稱) (第七圖版第一、二圖)

Lipeurus jejunus NITZSCH, 1874.

GIEBEL, Ins. Epiz. p. 240, pl. 20, f. 5, 7.;

Pulex anseris REDI, 1668.

Esperienze intorno intorno alla generazione degli insetti fatti, pl. X.;

Pediculus anatis anseris LINNÉ, 1789.

Systema Naturae, Vol. II, p. 1618.;

Lipeurus cygnopsis RUDOW, 1869.

Zeitschr. f. d. ges. Naturwiss, Vol. XXXVI. P. 129.;

Lipeurus anseris Gurlt, 1842.

Mag. f. ges. Thierheilk. Vol. 8, p. 426.

形　　　態

頭部　狹長ニシテ圓味アル長三角形ヲ呈シ圓キ前緣ヲ有ス　前頭部ハ長クシテ其前方各側ニ6個ノ短毛生シ而シテ前頭部ノ後隅即チ觸角窩前角ヨリ側方ニ突出スル柱狀突起 trabeculae ヲ有ス　額板ノ斑ハ殆ト明瞭ナラス　觸角ハ長ク雌雄其形ヲ異ニス　雄蟲ノ第一節ハ頗ル長大ニシテ別ニ附屬物無シ第二節ハ第三節ヨリ稍々長ク第三節ニハ小ナル側突起アリ第四節ハ極メテ小サク第五節ハ第二節ト同長ナリ　第四,五節ハ他ノ節ヨリ色濃シ(第七圖版第三圖)　雌蟲ノ觸角ハ絲狀ヲナシ第二節最モ長シ　顳顬ハ稍々膨大シ其緣著色シテ短キ2個ノ短毛ヲ生ス(Piaget 氏ハ1箇ノ短毛 Giebel 氏ハ1箇ノ長毛ト記載ス)觸角帶ハ額板ニ停止シ正中線ヘ斜トナル

胸部　前胸ハ亞梯形ニシテ後角ニ於テ1斑アリ　後胸ハ前胸ノ2倍强長ニシテ鼓形ヲナス　前角ハ角張ツテ膨レ後方ハ腹節ヘ輕微ニ凸出シ後角ノ前方ニ於テ中絕セル丈夫ナル1側帶ヲ有ス　後角ハ圓味アリ　後方ノ緣ニハ側緣ト竝行セル1橫斑アリテ其中ニ1個ノ幅廣キ凹凸アル楕圓形ノ面ヲ包藏シ此面ヨリハ4個ノ長毛生セリ(Giebel氏ハ5箇アリト云フ)胸面ニ於テハ雌蟲ハ僅カニ著色セル1正中斑ト縱ニナレル2個ノ「コンマ」狀點ヲ見ル　肢ハ丈夫ニシテ稍々著色ス基節及轉節ハ稍々發達シ腿節ハ第二對甚タ太ク第三對ノモノ短シ　腿節ノ端ニハ彎曲セル細毛生ス　脛節ハ背面ニ3個ノ短キ細毛ト內側ニ3—4個ノ棘ヲ有ス　其肩ニ1斑ト基部ニ於ケル他ノ1斑ヲ有ス　雌蟲ノ肢ハ雄蟲ノ肢ヨリモ僅カニ長シ

腹部　細長ニシテ兩側緣ハ雄蟲ニ於テハ略平行スレトモ雌蟲ニ於テハ稍々突出シテ柳葉狀ヲ呈ス　雄蟲ニ於テハ雌蟲ノモノヨリハ遙カニ短シ　側帶ハ透明ナル頭頂ヲ以テ前縫線ヲ超過ス　斑ハ胸部ノ斑ニ似タリ　第一節ノ斑ハ橫ニシテ濃色ノ1帶ヲ有ス　第二—四

節ノ斑ハ短クシテ方形ナリ　其前縁ニ截痕アリ　第五—七節ノ斑ハ舌狀ヲナス　其孰レニモ1個ノ幅廣キ截痕アリテ2小斑ヲ顯出ス　第八節ハ1横斑ト各側ニ不等ノ6個ノ短毛ヲ有ス　第九節ハ全然著色シ各側ニ2個ノ短毛ヲ有ス　各節後角ニハ2—4個ノ中等長毛ヲ有ス　氣門ノアル間隙ハ幅廣ク而シテ其區劃不整ナリ　第二—四節ノモノハ他ノ節ノモノヨリ稍々長シ　腹面ニ於テハ最初ノ6節ニ於テハ線狀ノ小斑アリテ縁ト竝行ス　genitalia ハ甚タ狹長ナリ　雌蟲ニ於テハ斑ハ全部方形ニシテ前側ニ於テ截痕アリ　末節（第八—九節）ハ各側ニ4箇ノ中等長毛アリ　又圓錐形ノ正中條ニ依テ分離セル2斑ヲ有シ各側ニハ1箇ノ凹凸セル部アリ

本種ハ家禽ノ羽虱中最大ノモノニシテ體ハ汚白色斑ハ濃灰褐色帶ハ帶黑色ナリ

計　　測 (mm)

	雌　　蟲	雄　　蟲
體　長	3.7 —3.9	2.8 —3.2
頭　部　長	0.64—0.73	0.64—0.65
同　幅	0.4 —0.45	0.44—0.45
前　胸　長	0.21	0.17—0.2
同　幅	0.3 —0.35	0.34
後　胸　長	0.51	0.4 —0.45
同　幅	0.49	0.35—0.42
腹　部　長	2.0	1.5
同　幅	0.6	0.46
觸　角	0.37—0.39 (第2節0.102)	0.46—0.48 (第1節0.19—0.204)
trabeculae	—	0.05
後　肢　腿　節	0.36	0.33
後　肢　脛　節	0.25	0.23

宿　　主

がてう（支那鵞）　*Anser domesticus;*

Anser cinereus;

Anser canadensis;

Anser aegyptiacus;

まがん　　*Anser albifrons;*

Anser albifrons gambeli;

Himantopus caudatus;

Dendromissa sponsa;

Cygnus buccinator.

採　集　地

臺北州宜蘭郡宜蘭街　(1916年一月　支那鵞　杉本採集)

(採集1例ナルモ恐ラク臺灣全土ニ汎布シ居ルモノト認ム)

地理的分布

獨逸,佛蘭西,伊太利,英吉利,北米合衆國,加奈陀,「エジプト」,濠洲,本邦(臺灣)

(三)　だてうながはじらみ(新稱)(第八圖版第一,二圖)

Lipeurus quadrimaculatus PIAGET, 1880.

Les Pediculines. p. 298, pl. XXIV, f. 8.;

Lipeurus struthionis GERVAIS, 1847.

Histoire naturelles des Insectes Aptères, III, Paris. p. 354, tab 49, f. 2.

1929年一月末永玄吉氏ノ厚意ニ依リ臺北圓山動物園ノ駝鳥ヨリ得タル標本雌蟲2箇,雄蟲2箇ニ就テ次ニ記載セントス

本種ハ駝鳥 Struthio camelus ニ普通ニ發見セラレ又稀ニ亞米利加駝鳥 Rhea americana ニモ發見セラルル種ニシテ未ク本邦ニ於テ報告セラレタルヲ知ラス

形　態

頭部　圓錐形ニシテ前方ハ殆ト拋物線狀ヲ呈シ觸角窩ノ前隅ニハ trabeculae アリ　雄蟲ノ觸角ハ甚タ長ク著色セラル　其第一節ハ紡錘形ニシテ第二節ヨリ長シ　第三節ハ第二節ヨリ短クシテ附屬枝アリ　第五節ハ第四節ノ約2倍ナリ　雌蟲ニ於テハ第五節ハ第三,四兩節ヲ合シタルモノニ等シ(第一九圖版第二圖參照)　眼ハ少シク凸出シテ其隅ニ1小棘ヲ有ス　顳顬ハ甚タ圓ク2毛ト3棘ヲ有ス　後頭ハ窪ミ1箇ノ三角形ノ短キ signature ヲ有ス　後頭帶ハ平行シ其基底

ニ於テ狹ク前方へ擴延シ眼及大腮ノ後根ト合ス　觸角帶(其内周ハ水滴狀突起ノ如ク不規則ノ凸凹チナス)ハ前頭ノ周圍ヲ形成シ基底ニ於テ2箇ノ斑ヲ有シ前方ハ2箇ノ水滴狀突起ヲ有シ各突起ハ斑ニテ被ハル　此4箇ノ斑ハ相對的ニ配置サレスシテ右ノ2斑ハ左ノ2斑ヨリ其間隔稍々接近ス　此4斑アルカ爲ニ此種ノ命名起リシ所以ナリ　標本ニ據ツテハ觸角帶ニ於ケルカ如キ非相對的ノ咀嚼器ノ入口アリ　其入口右側ハ左側ヨリハ稍々前方ヲ越シテ位置ス　大腮ハ強大ナリ　口窩ハ其形不規則ナリ(第一九圖版第一圖參照)

胸部　前胸ハ大ニシテ兩側ハ僅カニ圓形ヲ呈シ前方ハ甚タ狹ク後角ニ於テハ2箇ノ邊緣帶ト1箇ノ硬毛生ス　後胸ハ兩側圓ク後緣ハ眞直ニ腹節ト接ス　横帶ニ依テ妨ケラルル處ノ2箇ノ邊緣帶ヲ有ス　側方ニハ Piaget 氏ノ記載ノ如キ3箇ノ長毛列生スル外ニ余ノ標本ニテハ其外側ニ更ニ細キ中等長ノ1毛生ス　前方ニハ短棘ヲ有ス　背面正中線ニ沿ウテ2毛竝列ス　胸面ニハ2箇ノ縱帶ヲ有シ夫カ横帶ニ依テ連續シ中肢ノ基節ニ入ル　肢ハ長ク毛深シ小轉節ハ帶黑色ナリ　後位ノ2腿節ハ其角ニ1斑ヲ有ス　脛節ハ腿節ヨリハ稍々長クシテ細長ナリ　内側ニ於テ1列ノ棘ヲ有ス　其背面ニアル2毛ノ中末端ニ近キモノハ甚タ長シ　而シテ該節ノ末端ニハ「キチン」質ヨリナル帶黑色ノ2小板アリ　舌狀突起(距)ハ長クシテ分離セリ　跗節ニハ1或ハ2箇ノ細毛生ス　2箇ノ爪ハ長ク有色ナリ(第一九圖版第三圖參照)

腹部　雄蟲ノ腹部ハ大ニシテ中央部幅廣シ　側帶ハ線狀ニシテ横斑ハ兩側ニ於テ甚タ暗色ニシテ正中線ニ於テ狹隘トナル　氣門ノ間ニテ第二—七節ニハ截痕アリ　第九節ハ長ク末端ニ近キ部分少シク狹隘トナル　毛ハ夥シク生シ各節ニ於テ2列ヲ形成シ腹面ニ於テハ斑ハ其大サ甚タ不定ナリ　第一節ニテハ線狀ヲナシ第五節迄ハ漸次增大セル圓形ニシテソレヨリ又第七節迄ハ漸次縮小ス

genitalia ハ幅廣ク前方ハ Docophorus 屬ノ genitalia ニ似タリ　外部ノ突起

ハ微ニ彎曲シテ陰莖ヲ遙カニ超過セリ(第一九圖版第四圖参照) 雌蟲ニ於テハ稍々楕圓形ニシテ斑ハ側方ニアリテ單純ナリ 第八,九節間ノ縫線ハ不明瞭ナリ 第九節ハ2分シ雄蟲ノ末節ヨリハ毛夥シク生シ圓形ノ2箇ノ小斑ヲ有ス 腹面ニハ中高ナル小サキ valvulae ヲ有シ第五—七節ニ於テハ中絶シタル2箇ノ小ナル縱帶ト圓形ノ小斑ヲ有ス(第八圖版第三圖参照)

體ハ鮮明ナル黃色ニシテ斑ハ暗褐色乃至帶黑色ナリ

計　測 (mm)

	雌　蟲	雄　蟲
體長	3.23—3.3	3.2
頭部長	0.85	0.76
同幅	0.71	0.51
前胸長	0.25	0.29
同幅	0.59	0.56
後胸長	0.34	0.37
同幅	0.76	0.74
腹部長	2.04	1.87
同幅	1.02	0.85
觸角	0.37	0.64
後肢腿節	0.46	0.51
後肢脛節	0.54	0.46

宿　主

だてう　*Struthio camelus;*

あめりかだてう　*Rhea americana.*

採　集　地

臺北市圓山動物園　(1929年一月　駝鳥　杉本採集)

地理的分布

亞弗利加,亞米利加,其他熱帶地

(四) あひるながはじらみ(第七圖版第四圖)

Lipeurus squalidus NITZSCH, 1874.

GIEBEL, Ins. Epiz. p.241, pl. 16, f. 1.;

Pediculus anatis FABRICIUS, 1775.

Systema Entomologiae, p. 345.

Lipeurus squalidus NITZSCH,

DENNY 1842. p.176, pl. XIV, fig. 5; GRUBE, 1859, p. 486; GURLT, 1842. p. 425; KELLOGG, 1896. p. 132, pl. x, figs 6, 7; NITZSCH, 1818. p. 202; ......(ed GIEBEL), 1866. Zeitschr. f. ges. Naturwiss., Vol. xxviii, p. 385; PIAGET, 1880.p. 344, pl. xxx, fig. 5; TASCHENBERG, 1882. p. 162; UCHIDA, 1917. p. 48, pl. 1, fig. 12.

形　態

頭部　長三角形即チ觸角前方ニ於テ延長シ額板ノ縫線ニ於テ急ニ狹窄ス　額板ニハ其周縁ニ竝行シ後方ニテ圓クナレル斑 signature ヲ有ス　前頭部ニハ各側ニ1箇ノ棘ト6箇ノ細毛アリテ其中2箇ハ額板ニ生ス　觸角前角ニハ trabeculae アリ　雄蟲ノ觸角ハ僅カニ著色ス　其第一節最大ニシテ圓筒狀ヲ呈シ垂直ナル3箇ノ細毛生ス　第二節ニハ近接セル2箇ノ細毛生ス　第三節ニハ鋭鈎ヲナセル附屬突起ヲ有ス(第七圖版第六圖參照)雌蟲ノ觸角ハ雄蟲ノモノヨリ短ク第二節最大ナリ(第七圖版第五圖參照)眼ハ僅カニ凸出ス　顳顬ハ圓味アレトモ餘リ突出セス1箇ノ毛ト1箇ノ棘ヲ有ス　後頭ハ幅廣クシテ窪メリ　後頭帶ノ場所ニ於テハ無色ノ竝行セル2箇ノ條アリ　觸角帶ハ縫線ニ於テ杜絶シ少シク屈曲ス　口窩ハ前頭ノ半ヨリ以下ニアリ

胸部　前胸ハ小ニシテ圓味アル四邊形ニシテ其角裸ナリ　2箇ノ側帶ト狹キ中央條ヲ有ス　後胸ハ四邊形ヲ呈シ前胸ヨリ遙カニ大ナリ　頭ヨリハ幅廣カラス前$\frac{1}{3}$部ニテ狹窄ス　腹節ヘハ僅カニ彎曲ス　狹窄部ニ2箇ノ大ナル側帶ヲ有ス　後角ニハ稍々長キ毛ヲ有ス　此數ハ PIAGET 氏ハ2箇ノ短キモノト云ヒ GIEBEL 氏ハ4箇ト云ヒ KELLOGG 氏ハ7箇ト云フ　而シテ余ノ標本ハ KELLOGG 氏同樣7箇ニシテ其中ノ2長毛ハ亞正中線ニ他ノ4長毛ト1短毛ハ後角緣ニ近ク存ス　肢ハ丈夫ニシテ僅カニ著色ス　腿節ハ2箇ノ邊緣斑ヲ有シ若干ノ細毛生ス　脛節ハ2箇ノ邊緣帶ヲ有ス　背面ニハ3箇ノ

細毛ト內側ニ若干ノ棘アリ　爪ハ甚タ丈夫ニシテ不等ナル長サヲ有ス　胸骨面ニ於テハ第二基節間ニ1箇ノ正中斑ヲ有ス　次ニ第一腹節ノ上ニ擴カル處ノ1箇ノ第二ノ亞三角形ノ正中斑アリ

腹部　狹長ニシテ雄蟲ニ於テハ中位ノ腹節ハ幅僅カニ廣ク後角ニハ1—4箇ノ中等長ノ毛生ス　帶ハ狹長ニシテ邊緣ニ於テハ竝行シ前縫線ヲ僅カニ追越セリ　橫斑ハ非常ニ異ナルナリ　卽チ側方ノ不鮮明ナル褐色ナルモノヨリ鮮明ナル方形ニ銳ク切込ミアルモノ迄アリ　氣門ノ存スル室所ヲ挾ンテ橫條挺出スルカ其幅廣シ　第一節ハ稍々短ク而シテ箇體ニ依テハ其長サ不同ナリ　中位ノ腹節ハ稍々長シ　第九節ハ雄蟲ニ於テハ銳角ノ截痕アリテ2箇ノ剛毛ト1箇ノ細毛アリ（第一九圖版第七圖參照）　雌蟲ニ於テハ末節（第八及第九節）ハ2葉ニ分レ急ニ前方ト切離サル　3箇ノ剛毛ト1箇ノ細毛ヲ有ス　雄蟲ニ於テハ陰莖ハ圓筒形ニシテ狹長ナリ　外突起ハ內方ニ彎曲シ陰莖ヲ甚シク追越セリ（第一九圖版第六圖參照）雌蟲ノ腹面ニ於テハ valvulae ハ甚タ狹ク葉端ヲ分チ valvulae ニ於テ側帶ト接合スル處ノ2箇ノ帶アリ　6箇ノ最初ノ腹節ニ於テハ2箇ノ小縱斑アリテ其斑ハ緣ニ於テ竝行シ漸次其幅ヲ增加ス

體ハ淡黃色ニシテ斑ハ褐色帶ハ帶黑色ナリ

計　　　測 (mm)

			雌　　　蟲	雄　　　蟲
體		長	3.5	2.7–2.8
頭	部	長	0.65	0.59—0.68
同		幅	0.45	0.41—0.43
前	胸	長	0.53（後胸共）	0.19
同		幅	0.51（後胸共）	0.29—0.31
後	胸	長	—	0.37—0.43
同		幅	—	0.34—0.39
腹	節	長	1.75	1.5
同		幅	0.51	0.39
觸		角	0.24	0.41—0.43
	trabeculae		—	0.03

	雌蟲	雄蟲
後肢腿節	0.35	0.33
後肢脛節	0.22	0.2

宿主

あひる *Anas domestica;*

Anas punctata;

Anas clypeata;

Anas acnata;

Anas crecca;

Anas boschas fera;

Anas stelleri;

Anas gloscitans;

Anas strepera;

Anas glacialis;

Anas spectabilis;

Anas fusca;

Anas mollissima;

Merganetta armata;

うみあいさ *Merganser serrator;*

Eniconetha stelleri;

はばびろがも *Spatula clypeata;*

Charitonetta albeola;

まがも *Anas boschas;*

Eri natura rubida.

採集地

臺北州七星郡士林街(1927年九月　家鴨　杉本採集)

地理的分布

歐米各地　日本(內地、臺灣)　支那?

(五) にはとりながはじらみ (第三圖版第四,五,六圖)

Lipeurus variabilis NITZSCH, 1874.

GIEBEL, Ins. Epiz. p. 219, pl. 16, f. 3.;

Pediculus caponsis LINNÉ, 1805.

Systema Antliatorum, II, p. 1020, 33.

Lipeurus variabilis NITZSCH,

DENNY, 1842. p. 164, taf. XV, f. 6; GURLT, 1842. p. 422, taf. viii, f. 10; KELLOGG, 1896. p. 500; UCHIDA, 1917. p. 48, pl. 1, fig. 7.

形　　態

本種ハ其名稱ノ如ク其大サ頗ル不同ナリ　余ノ採集セル標本ニ就テ次ニ記載セントス

頭部　雌雄其形ヲ異ニス　雄蟲ノ前頭部ハ顳顬部ノ幅ヨリ廣ク雌蟲ハ前頭部ヨリハ顳顬部幅廣シ　前頭部前緣ハ半圓形ニシテ茲ニ14箇ノ毛生シ内2對ハ稍々長クシテ等距離ニ生ス　trabeculae ハ雄蟲ニ於テ特ニ顯著ニ突出シ指狀ヲナシテ屈曲シ褐色ナリ　雌蟲ニ於テハ觸角ノ前角ニ簡單ナル形ヲ以テ突出シ雄蟲ヨリ短ク其色淡シ　觸角ハ雌雄大ニ其形ヲ異ニス　雄蟲ニ於テハ長クシテ有色ナリ　其第一節ハ極メテ大キク他ノ4節ヲ合セタルモノヨリ長ク褐色ノ小突起ヲ有シ基底ニ於テハ甚タ狹窄シ邊緣帶ト丈夫ナル鈍瘤ヲ有ス　第三節ハ短ク鉤狀ノ褐色ノ附屬突起ヲ有ス(第六圖版第三圖參照)

雌蟲ノ觸角ハ細長絲狀ニシテ第二節最モ長ク第三節ハ第五節ト同長ナリ　眼ハ雌雄共僅カニ突出ス　顳顬ハ裸ニシテ兩側平行ナカラ雄蟲ハ角立チツツ圓味アリ　雌蟲ハ輕徵ニ圓シ　後頭ハ顳顬ト同一線上ニアリテ僅カニ隆凸セリ　眼帶ハ斜ニ位置シテ黑色ナリ　觸角帶ハ顯著ナリ　口窩ハ廣大ニシテ兩側ニ黑色ノ點アリ

胸部　前胸ハ小ニシテ梯形ヲ呈シ幅廣ク後$\frac{1}{3}$部ハ細クナリ後角ハ裸出ス　後胸ハ前胸ヨリ長ク頭幅ヨリハ幅廣シ後緣ハ腹節ヘ角張レリ(GIEBEL 氏ハ後緣眞直ナリト云フモ余ノ標本ハ氏ト同一ナリ)　兩側緣ノ中央部ハ僅カニ狹窄シ此狹窄部ニテ中絕セル側帶ヲ有シテ此狹窄部特

ニ黒色ナリ　小ナル2箇ノ横斑ヲ有シ其後方卽チ後緣ノ後角內方ニ楕圓形ノ凹凸アル淡色部アリテ玆ニ竝列セル4箇(PIAGET氏ハ2箇ト記スルモ余ハ內田氏ト同樣ナリ)ノ長毛ヲ生シ後角ニハ1長毛生ス　雌蟲ノ胸背面ニハ前中兩基節ノ中間ニ1大横斑第二､三基節間ニハ縱斑ト中央斑アリ(第一八圖版第六圖)　肢ハ長ク丈夫ニシテ著色セリ　基節ハ長ク其端ニ2斑ヲ有ス　脛節ハ2邊緣帶ト1背長毛ト內側ノ若干ノ棘ヲ有ス　跗節及外爪ハ發達シ內爪ハ薄ク稍々短ク且著色ス

腹部　長クシテ雄蟲ハ楕圓形ニテ非常ニ長ク雌蟲ハ雄蟲ヨリ幅廣ク後角以外ハ全部無毛ナリ　後角ニハ1－3箇ノ細キ長毛生ス　側帶ハ中央部狹窄シテ縫線ヲ超過セス　各節ノ胸腹兩面ノ中央斑ハ皺狀ヲ呈ス(特ニ背面ノ皺狀ハ顯著ニシテ腹面ハ唯四邊形ヲ呈スルモノアリ)　氣門ハ不明瞭ナリ　第一節ハ稍々短ク第九節ハ雄蟲ニテハ大ニ色リ濃ク其先端二分シ其末尾ニ2個ノ短棘ヲ有ス　雌蟲ニテハ雄蟲ノ節ヨリ幅廣ク大ナル腹面ノ邊緣帶ヲ有シ後方ニ彎曲シテ2分セ第七及第八節ハ後角ニ圓形ノ無色部アリテ此部ヨリ後角ニ於ケル長毛生ス　Genitalia ハ後方ニ擴カリ陰莖ハ甚タ長ク外突起ヲ追越セリ　外突起ハ短クシテ弓形ヲナス(第一八圖版第五圖參照)　雌蟲ノ腹面ニ於テハ第七節ノ斑ハ三角形ナル生殖斑ト連繫ス　valvulae ハ狹隘ナリ　而シテ僅カニ見得ル處ノ2箇ノ小縱斑及生殖斑ノ後方ニアル2個ノ他ノ分岐セル縱斑ヲ有ス

體ハ汚白色ナレドモ僅カニ黃色ヲ帶ブ　斑ハ暗灰褐色ニシテ雌蟲ニ於テハ稍々濃色ナリ　帶ハ帶黑色ナリ(PIAGET氏ノ記載ノ如ク余ノ標本ニハGIEBEL氏ノ如キ｢オリーブ｣色ノ帶チ有スルモノ一モ無シ)

計　　測　(mm)

	雌蟲	雄蟲
體長	2.1 －2.46	1.9 －2.26
頭部長	0.54－0.56	0.52－0.54

	雌蟲	雄蟲
頭部幅	前頭部0.34—0.37 顳顬部0.39—0.43	0.32—0.34 0.27
前胸長	0.19—0.2	0.17—0.2
同幅	0.25—0.29	0.2—0.24
後胸長	0.26—0.3	0.26
同幅	0.46	0.34
腹部長	1.58—1.68	1.43
同幅	0.53—0.57	0.33—0.42
觸角	0.34—0.36 (內第2節0.1)	0.51 (內第1節0.26)
後肢腿節	0.39	0.43
後肢脛節	0.34	0.34
卵子長	0.82	—
同厚	0.27	—

宿主

にはとり　*Gallus domesticus;*

さんけい　*Gennaeus swinhoii;*

たいわんきじ　*Phasianus formosanus,*

きんけい　*Phasianus pictus;*

ききじ　*Phasianus colchicus;*

みかどきじ　*Calophasis mikado;*

Gallus furcatus;

Pavo spiciferus;

Lophophorus impeyanus;

Lophura sp.;

Chrysolophus sp.;

Argasianus sp.;

Francolinus sp.

採集地

臺灣全島

地理的分布

世界各地

(六) たかさごながはじらみ(新稱) (第六圖版第四,五圖)

Lipeurus variabilis var. formosanus n. var.

1928年二月臺北市ニ於ケル1牝鷄ヨリ余ノ採集セル雄蟲5.雌蟲3ハ其形態甚タ *Lipeurus variabilis* NITZSCH ニ似タルモノナレトモ第六圖版第四五圖ニ示セル如ク大ナル異ナル點ヲ發見スヘク又余ノ種ハ KELLOGG (1896) 氏カ白鷴 silver pheasant (*Phasianus nyctherus*) ヨリ發見セル *Lipeurus introductus* (New Mallophaga II, pp. 500-502, pl. lxviii, fig. 1 and 5) ニ甚シク似タル點アルモ又異ナル點ヲモ認ム

形　　態

(雌　蟲)

頭部　一般ノ形態ハ前記2種ニ似タレトモ *Lipeurus variabilis* NITZSCH ノ如キ眼帶ナク稍々大ナル半周形ノ眼斑ヲ眼帶ノ位置ニ存スルヲ認ムヘシ　前頭部ノ長サハ幅ニ及ハス顳顬部ノ幅ハ前頭部ノ幅ト略同シ　前頭前緣ハ圓形ニシテ玆ニ6對ノ短毛生シテ內1對長シ　顳顬緣ハ *Lipeurus variabilis* ノ如ク裸ナラス　突出シタル眼ノ後方ニ1短毛ト後角ニ於テ1短毛ト1棘ヲ有スルコト *L. introductus* ト同樣ニテ之ト異ナル點ハ余ノ種カ NITZSCH 氏ノ標本ノ如ク短キ trabeculae ヲ有スルコトニシテ KELLOGG 氏ノ種ニハ之ヲ缺如ス　觸角ハ絲狀ニシテ第二節最モ長シ(第六圖版第六圖參照) 後頭ハ僅カニ彎入ス　後頭帶鮮明ナラス

胸部　前胸ハ梯形ニシテ幅廣ク後胸ノ幅ハ頭部ノ幅ト同一ニシテ後角ニ1毛生シ其內側ニ *L. variabilis* ノ如キ楕圓形ノ表面凹凸アル無色部アリテ玆ニ4箇ノ長毛列生ス (PIAGET 及 KELLOGG 兩氏ハ *L. variabilis* ニハ2箇ノ長毛此部ニ生スト記載アレトモ余ノ *L. variabilis* 及此余ノ變種ノ標本ニ於テハ內田氏ト同樣4箇ノ長毛ヲ認ム) 後緣ハ鈍角ヲナシテ少シク凸出シ2箇ノ短毛ヲ有ス

腹部　長楕圓形ナルモ NITZSCH ノ標本ト異ナリ卵圓形ニ近ク幅ハ第四,五兩節最モ廣ク(NITZSCH 氏ハ第四節最モ廣シト記載ス) 又余ノ種ハ NITZSCH 氏

ノ種ト *L. introductus* トノ中間ノ幅トス　而シテ PIAGET 氏カ *L. variabilis* ニ於テ說ク如ク節角以外ハ裸ナルト異ナリテ縱ニ2列ヲナシテ亞正中線ニ配列スル軟短毛ヲ見ルコト *Lipeurus introductus* ト同樣ナリ　此毛ハ纎小ナレトモ毛生部ハ鮮明ナル小點ヲ現ハス　節角ハ稍々突出シテ1–2箇ノ毛生ス　各節ノ後緣ハ殆ト眞直ニシテ裸ナリ　第九節ノ後端ハ截痕ヲ以テ鈍角ヲナス2葉ニ分ル(NITZSCH 氏ニ於テハ此部三角形ヲ呈ス)コノ雌蟲ノ特徴タル小ナル三角形ノ生殖斑ハ余ノ種ニモ存ス　體色帶及斑ノ色彩ハ *L. variabilis* ト *L. introductus* トニ似タリ卽チ體ハ白色側帶ハ鮮明ナル帶黑色(稍々栗色ヲ帶フ)ニテ斑ハ褐色ナリ　此斑ハ NITZSCH 氏ノ標本ノ如ク皺狀ヲナス

(雄　蟲)

頭部　兩氏ノ種ニ似タリ　前頭部ノ幅ハ顳顬部ノ幅ヨリ廣ク trabeculae ハ指狀ヲナシテ角狀ニ屈曲シ鮮明ナル黑色ノ觸角帶及眼斑ヲ有シ顳顬ノ後角ニ黑色ノ邊緣帶アリ　顳顬緣ハ膨出セスシテ殆ト平行ナリ　前頭部ノ前緣ニハ10箇ノ短毛生シ内2對ハ長シ　眼斑ノ後方ニテ突出セル眼ノ後方ニ1毛生シ顳顬緣ハ NITZSCH 氏ノ標本ノ如ク裸ナラス　KELLOGG 氏ト同樣1毛1棘アリ　觸角ハ第一節頗ル巨大ニシテ基部ニ近ク褐色ノ附屬突起アリ　又第三節ニモ附屬突起アリ　口窩ハ大ニシテ其兩側ニ黑褐色ノ小斑アリ

胸部　前胸ハ橫楕圓形ニシテ後胸ハ前胸ヨリ稍々長ク幅前胸ヨリ大ナリ　後胸側緣ハ NITZSCH 氏標本ト同樣前 $\frac{1}{3}$ ノ部狹窄セリ　側帶ハ NITZSCH 氏標本ト同樣ナリ　後角ニハ1箇ノ長毛ト1箇ノ大ナル楕圓形ノ無色部ヨリハ1列ニ3箇ノ長毛ト又内側ノ小圓形無色部ヨリハ1箇ノ長毛生ス(第六圖版第四圖參照)

腹部　兩側緣殆ト平行シ背面中央ニ2列ノ軟毛生シ各節ノ後角ニハ1, 2箇ノ長毛生ス　第八節ニハ側緣ニ1箇後隅ニハ2箇ノ長毛及1箇ノ短毛生ス　末節端ニハ短キ2箇ノ毛生ス　腹節ノ側帶ハ帶

黑褐色乃至黑色ニシテ正中斑ハ腹面ニ於テハ横ニ長方形背面ハ皺狀ヲナスモ亂レテ横ニ長方形ヲ呈シ其色雌蟲程濃厚ナラス　白色部ヲ以テ側帶ト區劃セラル　genitalia ハ第五節ヨリ第八節ニ擴延セラルルト雖トモ第五節ハ *L. introductus* 程廣カラス寧ロ第五節ノ殆ト末端ヨリ起ルモノナレハ第六節ヨリ起ルカ如ク見ユル標本アリ　而シテ *L. introductus* ト異ナリ最廣部ハ第六節ニアリテ第七節ニテ尖細トナリ第八節ニテ2裂シテ終ル　其終レル部位ニテ背腹兩面ニ多數ノ小細毛生ス　第九節ハ全部著色シテ角立ツモ深キ截痕無シ

計　　　測 (mm)

	雌　　　蟲	雄　　　蟲
體　　　長	2.34—2.44	2.32—2.38
頭　部　長	0.53—0.54	0.54
同　　　幅	0.39—0.4	0.34
前　胸　長	0.14	0.14
同　　　幅	0.27—0.29	0.22
後　胸　長	0.26—0.29	0.22
同　　　幅	0.39—0.41	0.34
腹　部　長	1.31	1.30
同　　　幅	0.56—0.61	0.41
觸　　　角	0.32—0.37 (第2節0.102)	0.51 (第1節0.255—0.274)
trabeculae	0.034	0.068
後肢腿節	0.43	0.43
後肢脛節	0.34	0.37
卵　子　長	0.76	—
同　　　厚	0.22	—

宿　　　主

にはとり　　*Gallus domesticus.*

Lipeurus variabilis var. *formosanus* n. var.

Three females and five males were collected from a chicken in Taihoku Feb. 6. 1928. This *Lipeurus* is of the median type of *variabilis N.* (Giebel, Insecta Epizoa, p. 219, pl. xvi, fig. 3; Piaget, Les Pédiculines, p. 364, pl. xxix, fig. 4; Denny, p. 164, pl. xv, fig. 6), and *introductus* Kellogg (New Mallophaga, II, p. 500, pl. lxviii, figs 1

and 5) from Silver Pheasant (*Phasianus nycthemerus*) but it differs from them in certain respects as follows:

Measurements of this new variety and two very closely allied species for comparison:

	L. variabilis var. *formosanus*		*L. variabilis*		*L. introductus*	
	female	male	female	male	female	male
Length of body	2.34–2.44	2.32–2.38	2.1 –2.46	1.9 –2.26	2.8	2.5
Width of body	.56– .61	.41	.53– .57	.33– .42	.66	.5
Length of head	.53– .54	.54	.54– .56	.52– .54	.66	.56
Width of head	.39– .4	.34	.39– .43	.32– .34	.5	.4
Length of prothorax ...	.14	.14	.19– .2	.17– .2		
Width of prothorax ...	.27– .29	.22	.25– .29	.2 – .24		
Length of metathorax...	.26– .29	.22	.26– .3	.26		
Width of metathorax...	.39– .41	.34	.46	.34		
Length of abdomen ...	1.31	1.3	1.58–1.68	1.43		
Width of abdomen ...	,56– .61	.41	.53– .57	.33– .42		
Antennae	.32– .37	.51	.34– .36	.51		
Trabeculae	(2nd seg. .102) .03	(1st seg. .255) .068				
Hind femur	.43	.43	.39	.43		
Hind tibia	.34	.37	.34	.39		
Length of egg	.76					
Thickness of egg ...	.22					

Description of the female. Body colored and marked like *variabilis* and *introductus*. Whitish, with distinct black lateral borders and chestnut median abdominal blotches, concave on the sides.

Head, like *variabilis* and *introductus*, but without ocular band, and with rather large, subcircular ocular blotches in place of ocular band; forehead shorter than the width; front parabolic, with six pairs of prickles; temporal margins not bare as in *variabilis*, but with a prickle behind the prominent eye, and a distinct hair and a prickle in the

posterior angle as in *introductus;* trabeculae short; antennae filiform, second segment longest; occiput concave; occipital band indistinct.

Prothorax short, trapezoidal.

Metathorax with a single long hair in the apex of posterior angle, just inside of the hair there is a white space and four long hairs as in *introductus* (Piaget and Kellogg mention in their descriptions of *variabilis* that there are two hairs in this region), posterior margin somewhat convex, with two prickles.

Abdomen, elliptical, in width about intermediate between that of *variabilis* and that of *introductus* ; widest at fourth or fifth segments; posterior angles of each segment haired as Piaget's description of *variabilis,* but the rest differing from the description in having two longitudinal submedian rows of weak hairs, which are standing from a distinct, clear, but small spot as in *introductus;* posterior angles of segments produced, with one or two hairs; bare posterior margins of segments almost straight; 9th segment emarginated with two obtuse ends (in *variabilis,* with two triangular ends). The characteristic small triangular genital blotch of the female of *variabilis* is present.

Male. Head, strangely shaped as in *variabilis* and *introductus,* wider in front of the antennae than across the temples; distinct black antennal bands, ocular blotches, and marginal bands of posterior angles of temples running along posterior margin terminating in a subcircular figure, a small black blotch in both sides of oral fossa (wanting in female); front parabolic, with ten long prickles; temporal margins not projected, almost parallel, not bare as in Nitzsch's description of *variabilis,* but with a prickle behind the prominent eye, and a distinct hair and a prickle on the posterior angle; trabeculae peculiarly slender, finger-like; antennae very large, first segment abnormally large with a slender blunt horn-like brown appendage nearer to the base than to the tip; 3rd segment also appendaged.

Prothorax, traverse-elliptical.

Metathorax longer than prothorax, lateral margins constricted as in *variabilis;* lateral bands like *variabilis;* angles bearing a longish hair, and with an additional longish

pustulated hair on posterior margin on each side, three long hairs just inside the elliptical white space. (plate VI, fig. 4).

Abdomen elongate, subparallel-sided, broadest in segment 6, tapering in segment 7, and uniform, narrow, two pointed in segment 8, segment 9, colored, angularly, but not deeply, emarginated, with a pair of longish hairs on submedianline on dorsal face ; angles with one or two long hairs; 8th segment with a long hair on lateral margins, two long hairs and a prickle on the angles; 9th segment with two short hairs. Brown median abdominal blotches broader than in female, separated from the black lateral bands by a narrow whitish space; strongly chitinized genitalia extending through segments 5th-8th.

参 考 書

REFERENCES.

1. Burmeister, Hermann C. C.: 1838. Handbuch der Entomologie, Bd. II, s. 434. Berlin.

2. De Geer, Carl.: 1778. Mémoires pour servir a l'histoire des insectes; vols. V et VII. Stockholm; through Piaget. Edmond.: 1880, Les Pédiculines, p. 231.

3. Denny, Henry.: 1842. Monographia Anoplurorum, Britannia, pp. 164-225. London; through Kellogg, Vernon L.: 1896, New Mallophaga, vol. I, p. 132.

4. Fabricius, Otto.: 1775. Systeme Entomologiae, p. 345; through Piaget, E.: 1880, Les Pédiculines, p. 344.

5. Ferris, G. F.: 1916. Some generic groups in the Mallophagan family Menoponidae. Canada Ent. pp. 301-312.

6. Gervais, Paul,: 1847. Histoire naturelles des insectes aptères, III, p. 354, Paris; through Piaget, E.: 1880, Les Pédiculines, p. 298.

7. Giebel, Christoph; 1874. Insecta Epizoa, p. 241, pl. xvi, fig. 1; p. 291, pl. 17, f. 11, pl. 19. Leipzig; through Kellogg, V.: 1896, New Mallophaga, vol. I, p. 132.

8. Giraud,: 1859. Bull. de la Soc. Ent. p. 140.

9. Gurlt, Ernest F.: 1842. Ueber die auf Haussäugethieren u. auf Hausvögeln lebenden Schmarotzinsekten. Mag. f. d. ges. Thierheilk., Bd. VIII, pp. 422, 425 u. 426; through Piaget, E.: 1880, Les Pédiculines, p. 459.

10. Harrison, L.: 1915. On the new family and five new genera of Mallophaga. Parasitology, vol. VII, pp. 383-407, pl. XXVI and XXVII.

11. ――――: 1916. The genera and species of Mallophaga. Parasitology, vol. VIII, pp. 338-359.

12. Kellogg, Vernon L.: 1896. New Mallophaga, vol. II, -From Land Birds, together with an account of the Mallophagous mouthparts. California Academy of Science, Series 2, vol. VI, pp. 500-512, Palo Alto.

13. ――――: 1908. Mallophaga, Genera Insectorum. Bruxelles.

14. Linné (von) Carl.: 1789. Systema naturae, 13th ed., tome I, vols. IV. et V, Leipzig; through Piaget,: Les Pédiculines, p. 364.

15. Mjöberg, E.: 1910. Studien über Mallophagen und Anopluren. Arkiv f. Zool. Bd. 6, Nr. 13, s. 1-266, Taf. 1-5.

16. Neumann, E.: 1912. Notes sur les Mallophages II. Archives de parasitologie, tome XV, p. 358, fig. 4; p. 361, figs 7 et 9; through Uchida, S.: 1926. Studies on Amblycerous Mallophaga of Japan. Journ. Agric. Coll. Imp. Univ. Tokyo, vol. IX, No. I, pp. 30-31, and p. 44.

17. Nitzsch, Christian Ludwig.: 1818. Die Familien u. Gattungen der Thierinsekten. (Insecta Epizoica) als ein Prodromus Naturgeschichte derselben. Germar's Magazin d. Entomol., Bd. III, S. 292-294. Halle; through Piaget,: Les Pédiculines, 1880.

18. Olfer,: 1816. Devegetativis et animatis corporibus in corporibus animatis referiundus commentarius, p. 90. Berolini; through Piaget,: Les Pédiculines, p. 459.

19. Osbone, Herbert.: 1891. The Pediculi and Mallophaga affecting man and the lower Animals. Bull. No. 7, Div. of Ent. U. S. Dept. of Agric., p. 38, with fig.

20. Paine, J. H: 1812. Notes on a miscellaneous collection of Mallophaga from mammals. Ent. News, vol. XXIII, pp. 437-442, pl. XXIII.

21. Piaget, Edmond.: 1880. Les Pédiculines, Essai Monographique. pp. 234-498, avec figs. Leyden.

22. Redi, Francesco.: 1668. Esporienze intorno alla generazione degli insetti fatti; (Reprinted in Opusculorum, Pars I, 1686, Amsterodami.) through Piaget,: Les Pédiculines, p. 459.

23. Rudow, Ferd.: 1870. Beobachtungen über Lebensweise u. Bau der Mallophagen o. Pelzeresser. Zeitschr. f. d. ges. Naturwiss., Bd XXXV, s. 453, Berlin; through Kellogg,; New Mallophaga, vol. I, p. 96 and 132.

24. Snodgrass, Robert F.: 1905. A Revision of the Mouth-parts of the Corrodeentia and Mallophaga. AM. ENT. Soc. vol. XXXI, pp. 302-306.

25. Taschenberg, Otto,: 1882. Die Mallophagen, mit besonderer Berücksichtigung der von Dr Meyer gesammelten Arten. Nova Acta d. Ksl Leop.-Garol. Deutschen Akademie d. Naturforscher, Bl. XLIV, Nr. 1, s.69. Halle.

26. Uchida, Seinosuke.: 1926. Studies on Amblycerous Mallophaga of Japan. Journ. Agric. Coll. Imp. Univ. Tokyo, vol. IX, No. 1, pp. 30-31, and p. 44.

27. Waterston, J.: 1915. On two new species of Mallophaga, Menoponidae. Entom. Monthly Mag. 3rd Ser. vol. 1, pp. 12-16, pl. 1.

28. 杉本正篤 臺灣に於ける家禽寄生蟲に關する研究、臺灣總督府中央研究所農業部彙報第五十四號、（昭和二年）P. 16, P. 19, 第五圖版、第一圖乃至三圖、第五圖及第六圖

29. 内田清之助 本邦の家禽に寄生する羽蝨類名和靖氏還暦紀念寄贈論文集（大正六年）P. 45, 第一圖版第二圖乃至五圖、七圖、九圖乃至十二圖

補　　記

全稿ノ校正印刷ヲ了セシ後最近入手セシ參考書ニ依テ訂正ヲ要スル箇所ヲ發見セルヲ以テ今玆ニ本文ノ一部ヲ訂正シ次ニ之ヲ記載ス

一、Genus *Eomenacanthus* UCHIDA, 1926 ハ Genus *Menacanthus* NEUMANN, 1912 ニ等シキモノナレハ從テおほにはとりはじらみノ學名ハ *Menacanthus beseriatum* (PIAGET, 1880) ト改ム

二、Genus *Docophorus* NITZSCH, 1818 ハ Genus *Philopterus* NITZSCH, 1818 ニ等シキモノニシテ更ニ Cummings (1916) ハ Genus *Philopterus* ヨリ家鴨ニ寄生スルモノヲ分離シテ Genus *Anatoecus* ヲ新設シタリ　余ハ此 Genus *Anatoecus* ニ鴨長羽虱屬ナル新稱ヲ與ヘタリ　而シテくちびろはじらみノ學名ハ Ewing (1929) ニ從テ *Anatoecus dentatus* (SCOPOLI, 1763) ト改ム

三、Genus *Goniocotes* 及 Genus *Goniodes* ハ Family *Goniodidae* Mjöberg (1910) ニ編入ス

四、Cummings (1916) ノ Genus *Struthiolipeurus* ニ余ハ駝鳥長羽虱屬ノ新稱ヲ與ヘ　だてうながはじらみノ學名ヲ *Struthiolipeurus Struthionic* (GERVAIS, 1847) ト改ム

五、Harrison (1916) ハ Genus *Esthiopterum* ヲ設ケタリ　之ニがてうながはじらみ,あひるながはじらみノ兩種屬スルモノナレハ從テ學名ヲ前者ハ *Esthiopterum anseris* (LINNÉ, 1767) 後者ハ *E. crassicorne* (SCOPOLI, 1763) ニ改ム

六、Ewing (1929) ハ Genus *Columbicola* ヲ設ケタリ　余ハ之ニ鴿長羽虱屬ノ新稱ヲ與ヘ　はとながはじらみノ學名ハ同氏ニ從テ *Columbicola columbae* (LINNÉ, 1767) ニ改ム

七、前記駝鳥長羽虱屬, *Esthiopterum* 屬,鴿長羽虱屬及長羽虱屬ノ 4 屬ヲ Mjöberg (1916) ノ設ケタル Family *Lipeuridae* ニ編入ス

第　一　圖　版

Fig. 1 *Menopon latum* PIAGET, dorsal aspect of ♀. 雌蟲背面

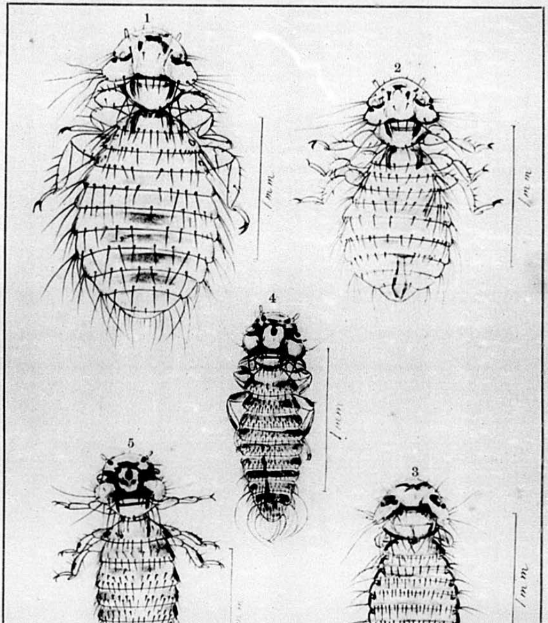
Fig. 2 *Menopon latum* PIAGET, dorsal aspect of ♂. 雄蟲背面

Fig. 3 *Menopon obscurum* PIAGET, dorsal aspect of ♀. 雌蟲背面

Fig. 4 *Ferrisia turbinata* (DENNY), dorsal aspect of ♂. 雄蟲背面

Fig. 5 *Ferrisia turbinata* (DENNY), dorsal aspect of ♀. 雌蟲背面

第一圖版



M. Sugimoto del.

第　二　圖　版

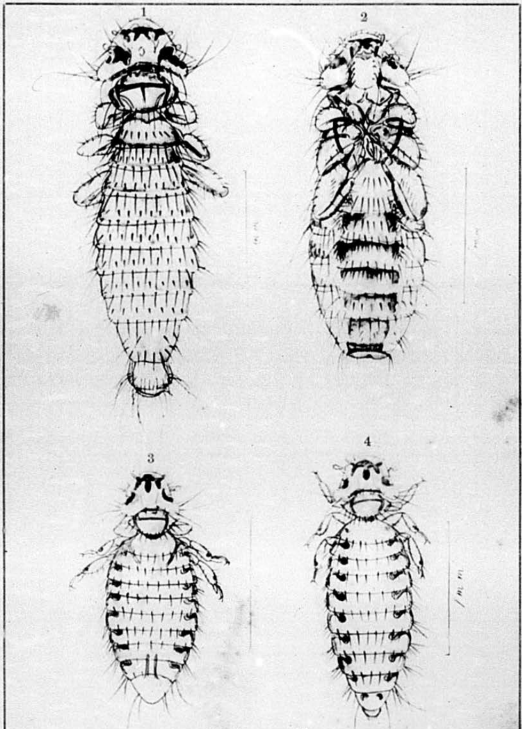
Fig. 1 *Eomenacanthus biseriatum* (PIAGET), dorsal aspect of ♂. 雄蟲背面

Fig. 2 *Eomenacanthus biseriatum* (PIAGET), ventral aspect of ♀. 雌蟲腹面

Fig. 3 *Neumannia pallidum* (NITZSCH), dorsal aspect of ♂. 雄蟲背面

Fig. 4 *Neumannia pallidum* (NITZSCH), dorsal aspect of ♀. 雌蟲背面

第二圖版



M. SUGIMOTO del.

第　三　圖　版

Fig. 1 *Docophorus icterodes* NITZSCH, dorsal aspect head of ♀. 雌蝨頭部背面

Fig. 2 *Docophorus icterodes* NITZSCH, dorsal aspect of ♀. 雌 蝨 背 面

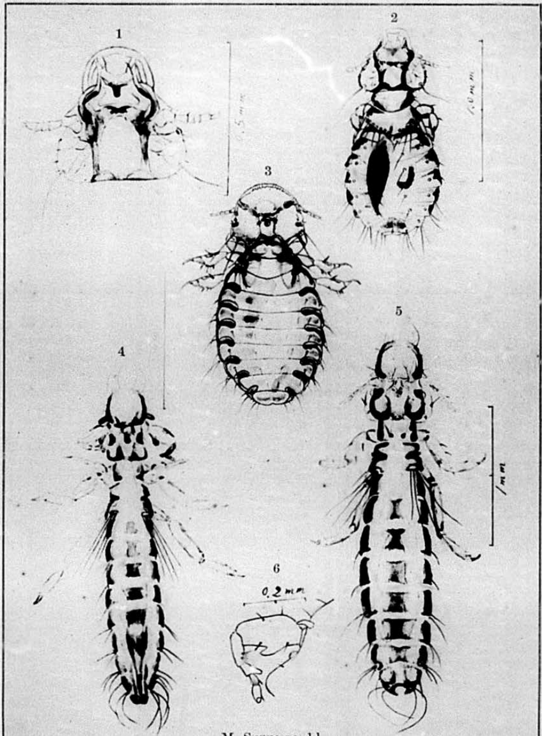
Fig. 3 *Goniocotes hologaster* NITZSCH, dorsal aspect of ♀. 雌 蝨 背 面

Fig. 4 *Lipeurus variabilis* NITZSCH, dorsal aspect of ♂. 雄 蝨 背 面

Fig. 5 *Lipeurus variabilis* NITZSCH, dorsal aspect of ♀. 雌 蝨 背 面

Fig. 6 Antenna of ♂ *Lipeurus variabilis* NITZSCH. 雄 蝨 背 面

第三圖版



M. SUGIMOTO del.

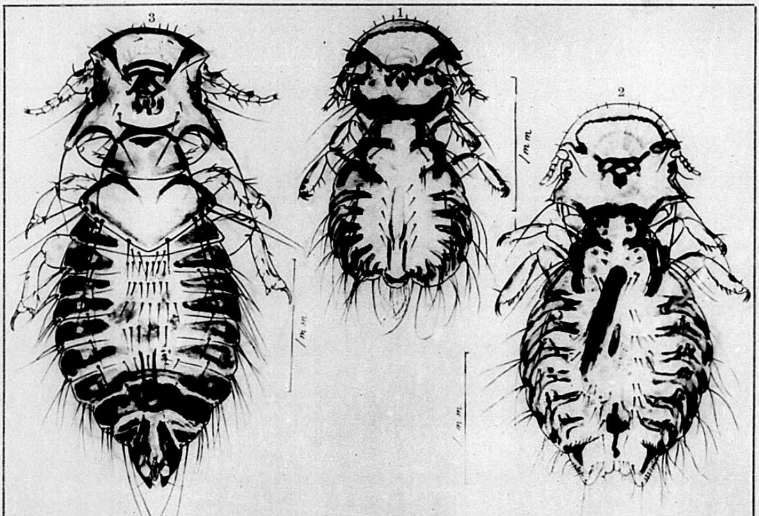
第　四　圖　版

Fig. 1 *Goniodes dissimilis* NITZSCH, dorsal aspect of ♂. 雄蟲背面

Fig. 2 *Goniodes dissimilis* NITZSCH, dorsal aspect of ♀. 雌蟲背面

Fig. 3 *Goniodes stylifer* NITZSCH, dorsal aspect of ♂. 雄蟲背面

第四圖版



M. SUGIMOTO del.

第　五　圖　版

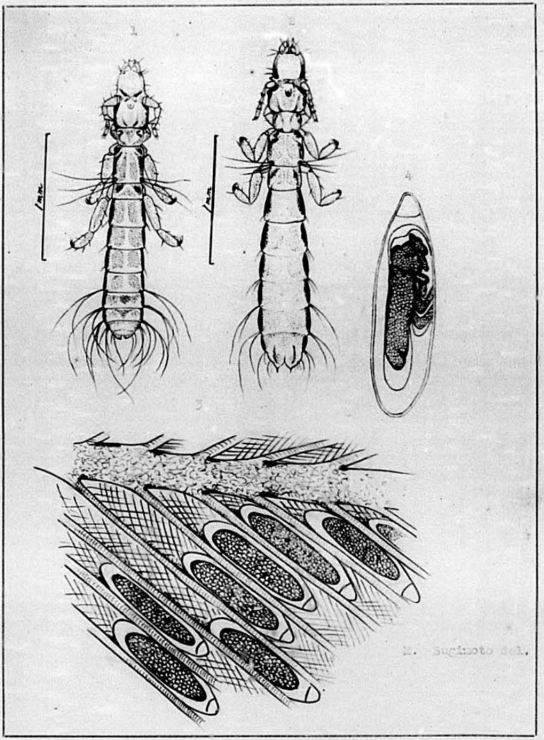
Fig. 1 *Lipeurus baculus* NITZSCH, dorsal aspect of ♂. 雄蟲背面

Fig. 2 *Lipeurus baculus* NITZSCH, dorsal aspect of ♀. 雌蟲背面

Fig. 3 *Lipeurus baculus* NITZSCH, plumage with eggs. 羽瓣ノ卵子

Fig. 4 *Lipeurus baculus* NITZSCH, egg. 卵子

第五圖版



第　六　圖　版

Fig. 1 *Goniocotes compar* var *formosanus* n. var., dorsal aspect of ♀. 雌蟲背面

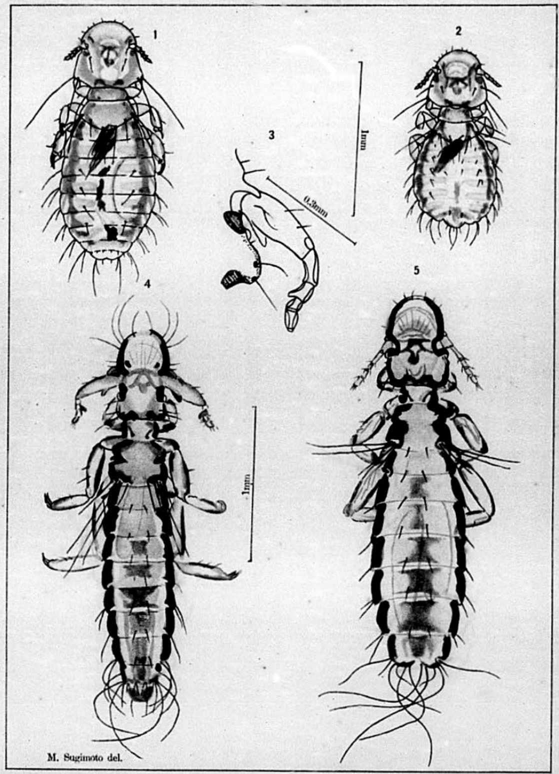
Fig. 2 *Goniocotes compar* var. *formosanus* n. var., dorsal aspect of ♂. 雄蟲背面

Fig. 3 Antenna of ♂. *Lipeurus variabilis* var *formosanus* n. var. 雄蟲觸角

Fig. 4 *Lipeurus variabilis* var. *formosanus* n. var., dorsal aspect of ♂. 雄蟲背面

Fig. 5 *Lipeurus variabilis* var. *formosanus* n. var., dorsal aspect of ♀. 雌蟲背面

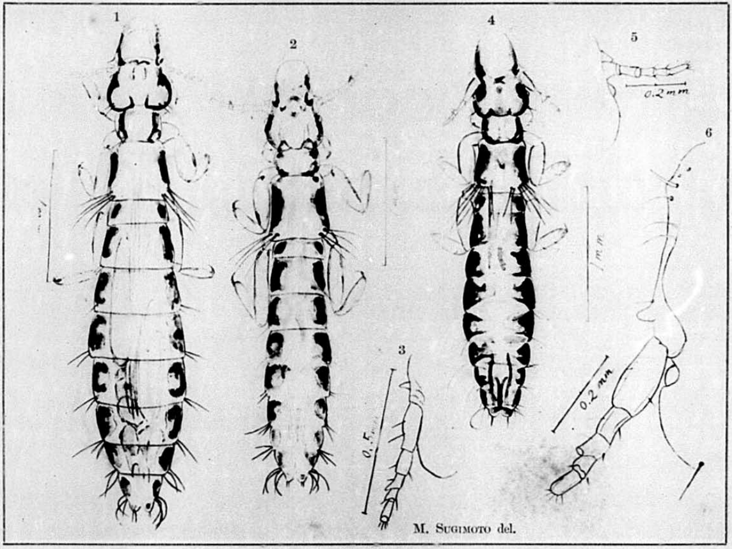
第六圖版



第 七 圖 版

Fig. 1	*Lipeurus jejunus* NITZSCH, dorsal aspect of ♀.	雌蟲背面
Fig. 2	*Lipeurus jejunus* NITZSCH, dorsal aspect of ♂.	雄蟲背面
Fig. 3	Antenna of ♂. *Lipeurus jejunus* NITZSCH.	雄蟲觸角
Fig. 4	*Lipeurus squalidus* NITZSCH, dorsal aspect of ♂.	雄蟲背面
Fig. 5	Antenna of ♀. *Lipeurus squalidus* NITZSCH.	雌蟲觸角
Fig. 6	Antenna of ♂. *Lipeurus squalidus* NITZSCH.	雄蟲觸角

第七圖版



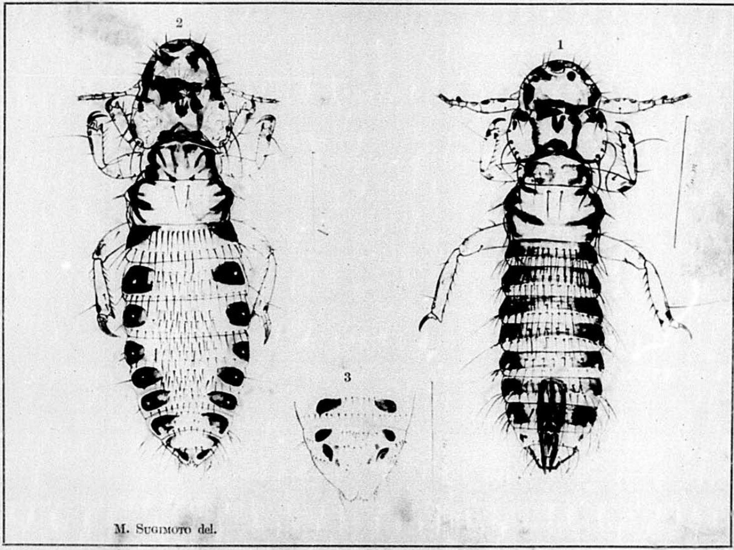
第　八　圖　版

Fig. 1 *Lipeurus quadrimaculatus* PIAGET, dorsal aspect of ♂. 雄 蟲 背 面

Fig. 2 *Lipeurus quadrimaculatus* PIAGET, dorsal aspect of ♀. 雌 蟲 背 面

Fig. 3 *Liepurus quadrimaculatus* PIAGET, ventral aspect abdomen of ♀. 雌蟲腹部腹面

第八圖版



第　九　圖　版

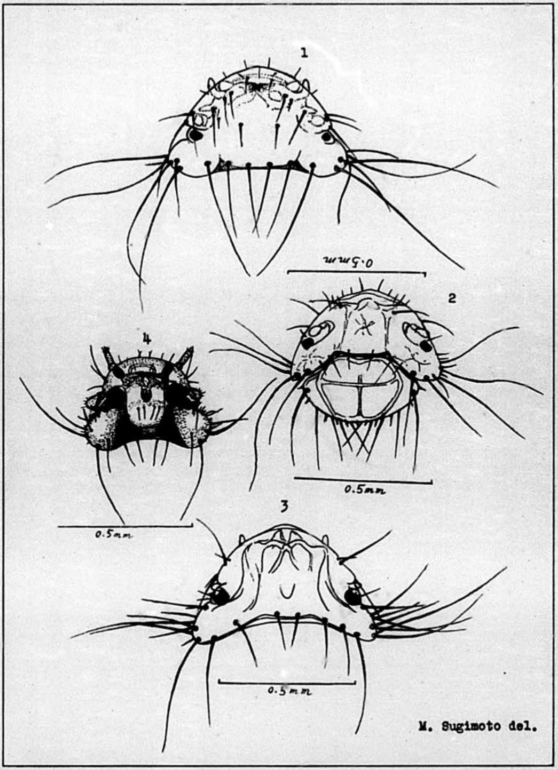
Fig. 1 *Menopon latum* PIAGET, dorsal aspect head of ♀. 雌蟲頭部背面

Fig. 2 *Menopon obscurum* PIAGET, dorsal aspect head and prothorax of ♀. 雌蟲頭前胸背面

Fig. 3 *Eomenacanthus biseriatum* (PIAGET), dorsal aspect head of ♀. 雌蟲頭背面

Fig. 4 *Ferrisia turbinata* (DENNY), dorsal aspect head of ♂. 雄蟲頭背面

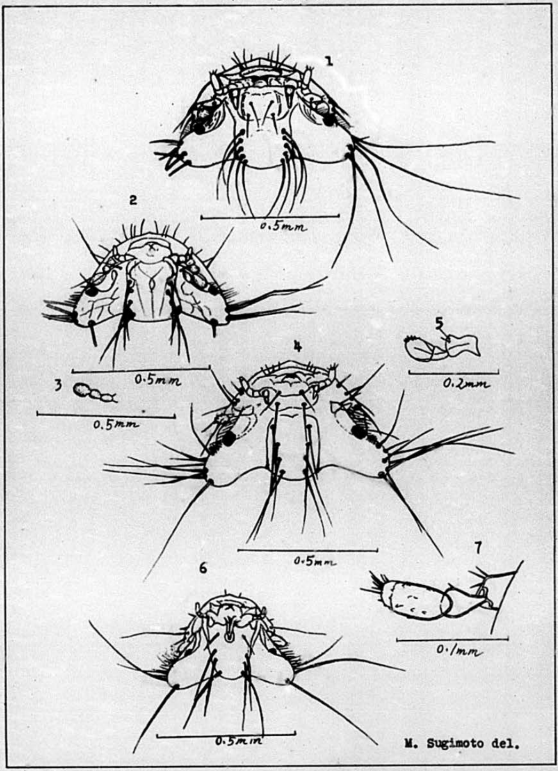
第九圖版



第一〇圖版

Fig. 1	*Menopon latum* PIAGET, ventral aspect head of ♀.	雌蟲頭背面
Fig. 2	*Menopon obscurum* PIAGET, ventral aspect head of ♀.	雌蟲頭腹面
Fig. 3	Antenna of ♀. *Menopon obscurum* PIAGET.	雌蟲觸角
Fig. 4	*Eomenacanthus biseriatum* (PIAGET), ventral aspect head of ♀.	雌蟲頭腹面
Fig. 5	Antenna of ♀. *Eomenacanthus biseriatum* (PIAGET).	雌蟲觸角
Fig. 6	*Neumannia pallidum* (NITZSCH), ventral aspect head of ♀.	雌蟲頭部腹面
Fig. 7	Antenna of ♀. *Neumannia pallidum* (NITZSCH).	雌蟲觸角

第一〇圖版



第 一 一 圖 版

Fig. 1 Last segment of abdomen of ♀. *Menopon latum* PIAGET, dorsal aspect. 雌蟲腹部末端背面

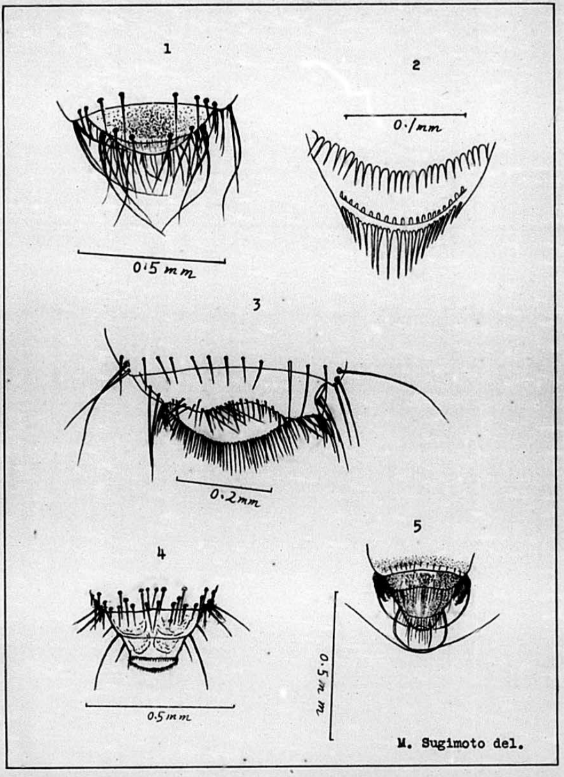
Fig. 2 Last segment of abdomen of ♀. *Neumannia pallidum* (NITZSCH), dorsal aspect. 雌蟲末端背面

Fig. 3 Last segment of abdomen of ♀. *Eomenacanthus biseriatum* (PIAGET), dorsal aspect. 雌蟲末端背面

Fig. 4 Last segment of abdomen of ♀. *Menopon obscurum* PIAGET, dorsal aspect. 雌蟲末端背面

Fig. 5 Last segment of abdomen of ♀. *Ferrisia turbinata* (DENNY), dorsal aspect. 雌蟲末端背面

第一一圖版



第一二圖版

Fig. 1 *Neumannia pallidum* (NITZSCH), spined blotch of 4th segment of abdomen, ventral aspect. 第四腹節腹面上ノ棘斑

Fig. 2 Dorsal aspect of hind leg of *Neumannia pallidum* (NITZSCH). 後肢背面

Fig. 3 Spined rows of combs of ventral surface of hind femur of *Ferrisia turbinata* (DENNY). 後腿節腹面上ノ棘櫛

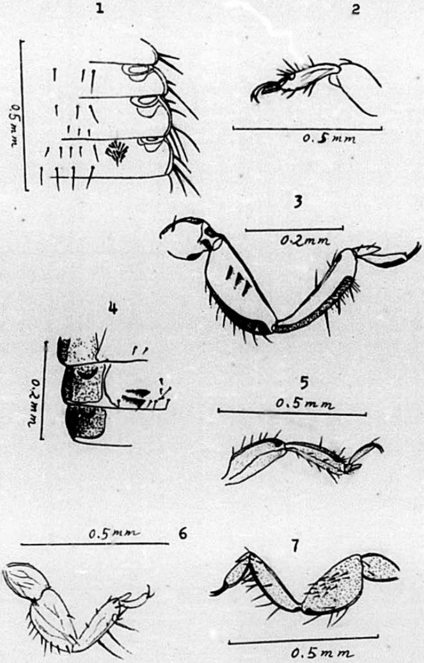
Fig. 4 Spined rows of combs of ventral surface of 3rd segment of abdomen of *Ferrisia turbinata* (DENNY). 第三腹節ノ棘櫛

Fig. 5 Dorsal aspect of hind leg of *Ferrisia turbinata* (DENNY). 後肢背面

Fig. 6 Dorsal aspect of hind leg of *Menopon obscurum* PIAGET. 後肢腹面

Fig. 7 ventral aspect of hind leg of *Menopon latum* PIAGET. 後肢腹面

第一二圖版



M. Sugimoto del.

第一三圖版

Fig. 1 Male genitalia of *Neumannia pallidum* (NITZSCH). 雄蟲生殖裝置

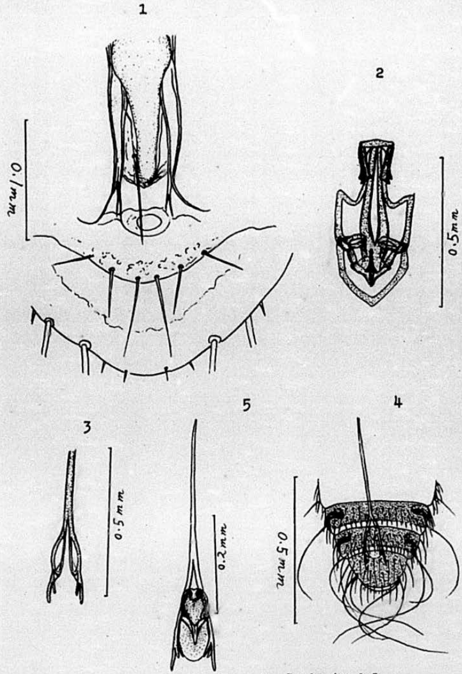
Fig. 2 Male genitalia of *Eomenacanthus biseriatum* (PIAGET). 雄蟲生殖裝置

Fig. 3 Male genitalia of *Menopon obscurum* PIAGET. 雄蟲生殖裝置

Fig. 4 Male genitalia of *Ferrisia turbinata* (DENNY). 雄蟲生殖裝置

Fig. 5 Male genitalia of *Ferrisia turbinata* (DENNY). 雄蟲生殖裝置

第一三圖版



M. Sugimoto del.

第一四圖版

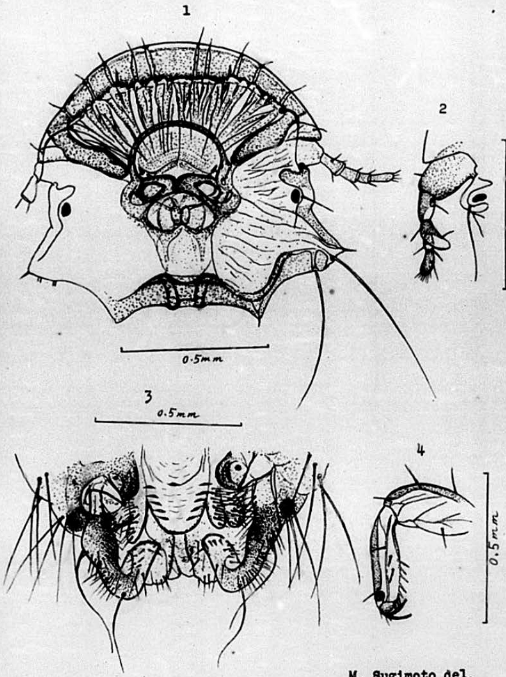
Fig. 1 *Goniodes dissimilis* NITZSCH, ventral aspect head of ♀. 雌蟲頭腹面

Fig. 2 Antenna of ♂. *Goniodes dissimilis* NITZSCH. 雄蟲觸角

Fig. 3 Last segment of abdomen of ♀. *Goniodes dissimilis* NITZSCH, ventral aspect. 雄蟲後端腹面

Fig. 4 Dorsal aspect of hind leg of *Goniodes dissimilis* NITZSCH. 後肢背面

第一四圖版



M. Sugimoto del.

第一五圖版

Fig. 1 *Goniocotes hologaster* NITZSCH, dorsal aspect head of ♀. 雌蟲頭背面

Fig. 2 Hind tibia and tarsus of ♀. *Goniocotes hologaster* NITZSCH. 雌蟲後肢脛節及蹠節

Fig. 3 *Goniocotes compar* var. *formosanus* n. var., dorsal aspect of ♀. head, thorax and abdomen. 雌蟲頭、胸、腹部背面

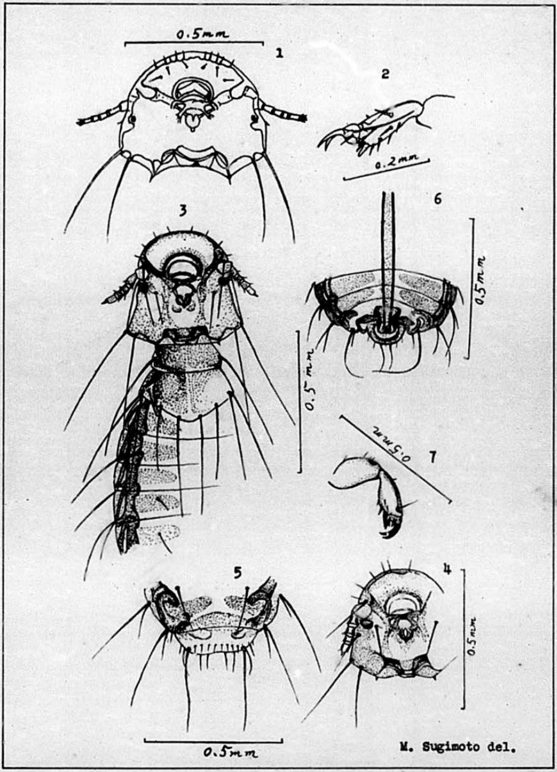
Fig. 4 *Goniocotes compar* var. *formosanus* n. var., dorsal aspect head of ♂. 雌蟲頭背面

Fig. 5 Last segment of abdomen of ♀. *Goniocotes compar* var. *formosanus* n. var., dorsal aspect. 雌蟲後端背面

Fig. 6 Male genitalia of *Goniocotes compar* var. *formosanus* n. var. 雄蟲生殖裝置

Fig. 7 dorsal aspect of hind leg of *Goniocotes compar* var. *formosanus* n. var. 後肢背面

第一五圖版



第一六圖版

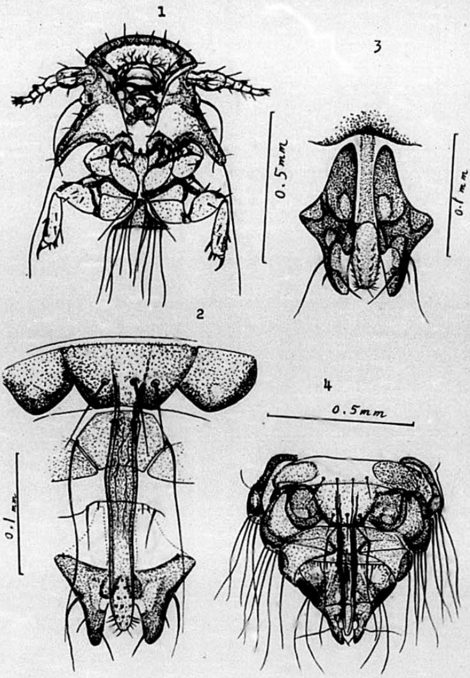
Fig. 1 *Goniodes stylifer* Nitzsch, ventral aspect head and thorax of ♂. 雄蟲頭胸腹面

Fig. 2 Male genitalia of *Goniodes stylifer* Nitzsch. 雄蟲生殖装置

Fig. 3 Last segment of abdomen of ♂. *Goniodes stylifer* Nitzsch, dorsal aspect. 雄蟲後端背面

Fig. 4 Last segment of abdomen of ♂. *Goniodes stylifer* Nitzsch, ventral aspect. 雄蟲後端背面

第一六圖版



M. Sugimoto del.

第 一 七 圖 版

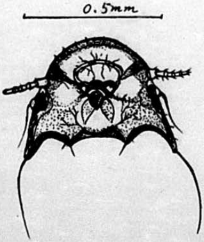
Fig. 1 Dorsal aspect head of ♀. *Goniodes stylifer* NITZSCH, 雌蟲頭背面

Fig. 2 Last segment of abdomen of ♀. *Goniodes stylifer* NITZSCH, ventral aspect. 雌蟲後端腹面

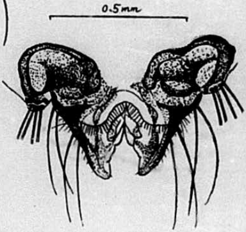
Fig, 3 Last segment of abdomen of ♀. *Goniodes stylifer* NITZSCH, dorsal aspect. 雌蟲後端背面

第一七圖版

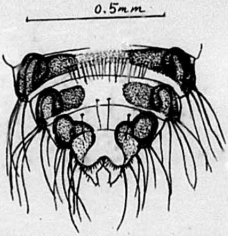
1



2



3



M. Sugimoto del.

第一八圖版

Fig. 1 Dorsal aspect of head of ♂. *Lipeurus baculus* NITZSCH. 雄蟲頭背面

Fig. 2 Ventral aspect of head of ♀. *Lipeurus baculus* NITZSCH. 雌蟲頭腹面

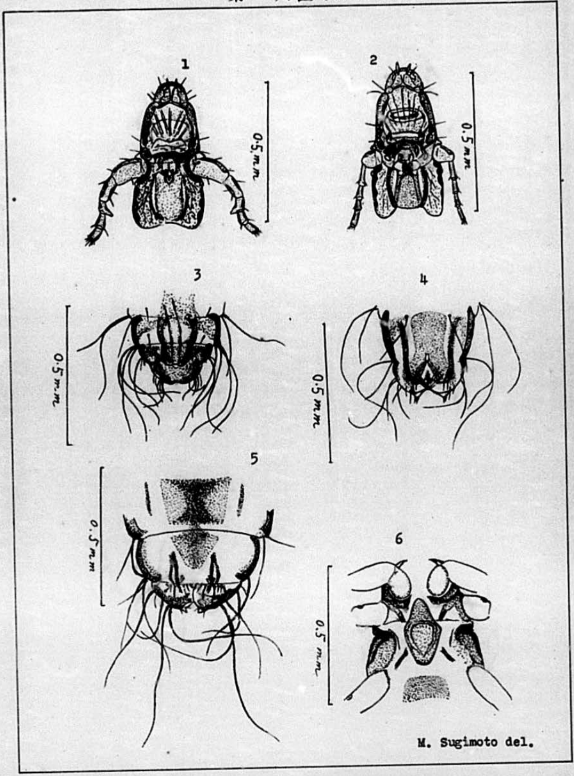
Fig. 3 Male genitalia of *Lipeurus baculus* NITZSCH. 雄蟲生殖裝置

Fig. 4 Last segment of abdomen of ♀. *Lipeurus baculus* NITZSCH, ventral aspect. 雌蟲後端腹面

Fig. 5 Last segment of abdomen of ♀. *Lipeurus variabilis* NITZSCH, ventral aspect. 雌蟲後端腹面

Fig. 6 Median sternal blotch of *Lipeurus variabilis* NITZSCH. 胸骨面正中斑

第一八圖版



第一九圖版

Fig. 1 Ventral aspect head of ♂. *Lipeurus quadrimaculatus* PIAGET. 雌蟲頭部腹面

Fig. 2 Antenna of ♀. *Lipeurus quadrimaculatus* PIAGET. 雌蟲觸角

Fig. 3 Dorsal aspect hind leg (tibia and tarsus) of ♂. *Lipeurus quadrimaculatus* PIAGET. 雄蟲後肢脛跗節背面

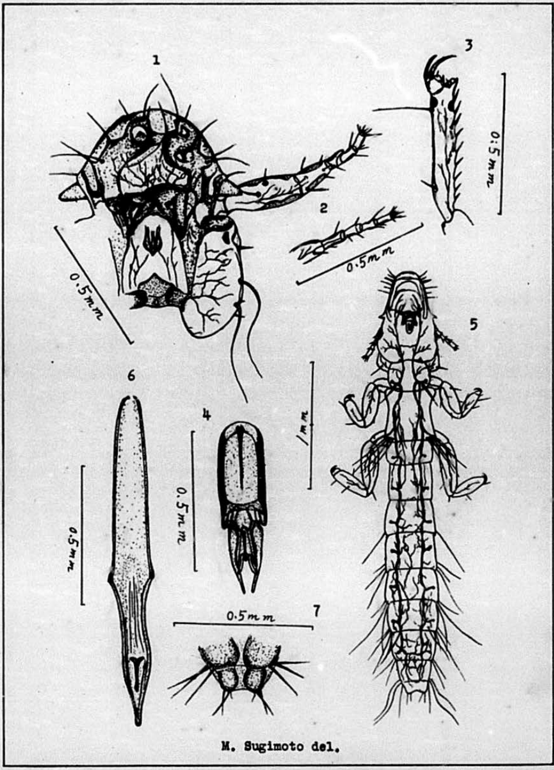
Fig. 4 Male genitalia of *Lipeurus quadrimaculatus* PIAGET. 雄蟲生殖裝置

Fig. 5 Respiratory system of ♀. *Lipeurus squalidus* NITZSCH. 雌蟲呼吸系統

Fig. 6 Male genitalia of *Lipeurus squalidus* NITZSCH. 雄蟲生殖裝置

Fig. 7 Last segment of abdomen ♂. *Lipeurus squalidus* NITZSCH, dorsal aspect. 雄蟲後端背面

第一九圖版



昭和四年十二月十四日印刷
昭和四年十二月十六日發行

臺灣總督府中央研究所

臺北市大正町二丁目三十七番地
印刷人　穎川首

臺北市榮町四丁目三十二番地
印刷所　株式會社　臺灣日日新報社